

佐久市家庭ごみに関する市民アンケート及び
事業系ごみに関する事業所アンケート
報 告 書

令和6年7月
佐 久 市

目次

1. 調査概要.....	1
(1) 調査の目的.....	1
(2) アンケートの概要.....	1
2. 家庭ごみに関する市民アンケート結果.....	2
(1) 属性.....	2
(2) ごみに関する認識や日常の行動について.....	6
(3) ごみの排出状況について.....	10
(4) 食品ロスの発生状況や日常の行動について.....	14
(5) ご家庭から出る生ごみの堆肥化について（臼田地区にお住まいの方限定）.....	17
(6) 佐久市の取組について.....	19
3. 事業系ごみに関する事業所アンケート結果.....	27
(1) 属性.....	27
(2) 事業所から排出されるごみの処理や資源化の状況について.....	29
(3) 事業所における取組について.....	34
(4) 市の取組や市への要望について.....	40

資料編

1. その他回答.....	資-1
(1) 市民アンケートのその他回答.....	資-1
(2) 事業所アンケートのその他回答.....	資-10

1. 調査概要

(1) 調査の目的

佐久市では「佐久市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画」を策定し、3R（リデュース：発生抑制、リユース：再使用、リサイクル：再生利用）の取組と適正処理を推進することで、「循環型社会」の実現を目指してきました。令和6年度に計画目標年度を迎えることから、現在、計画の見直しを進めています。このアンケートは、新たな計画の策定に向け、家庭や事業所でのごみの排出状況や取組内容等を把握し、ごみの減量化やリサイクルなどの施策の検討に資することを目的としています。

(2) アンケートの概要

【家庭ごみに関する市民アンケート】

- 対 象 者：佐久市内の13歳以上の市民を対象とし、住民基本台帳から無作為に抽出
- 調査方法：アンケート用紙を郵送・配布（インターネットによる回答を併用（回答者が回答方法を選択））
- 調査期間：令和5年12月19日（火）から令和6年1月12日（金）
- アンケート配布数 2,000
- 回 収 数 841
- 回 収 率 42.1%

【事業系ごみに関する事業所アンケート】

- 対 象 者：佐久市内に事業所があり、事業系ごみの袋を購入している事業所から無作為に抽出
- 調査方法：アンケート用紙を郵送・配布（インターネットによる回答を併用（回答者が回答方法を選択））
- 調査期間：令和5年12月19日（火）から令和6年1月12日（金）
- アンケート配布数 210
- 回 収 数 87
- 回 収 率 41.4%

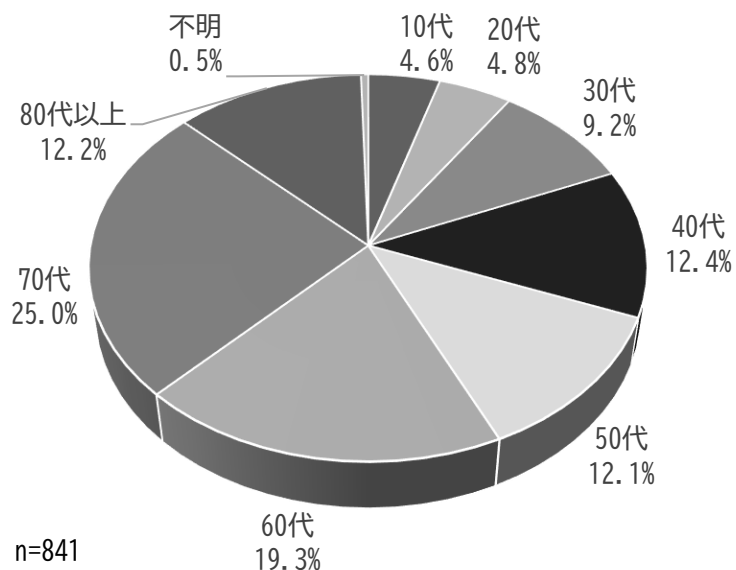
調査結果の留意点

- ・ 回答結果は小数第2位を四捨五入して各項目の割合を示しているため、各項目の割合の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・ 複数回答可とした設問については、回答者数に対する割合を示しているため、各項目の割合の合計が100.0%を超えます。
- ・ 図表中の「n」は各設問の基数（割合を算出するためのサンプル数）を示しています。
- ・ 無回答、指定数以上の回答、指定方法以外の回答については、「不明」としています。
- ・ 本文、表、図は、表記の都合上、アンケート用紙の選択肢等の文言を一部簡略化している場合があります。

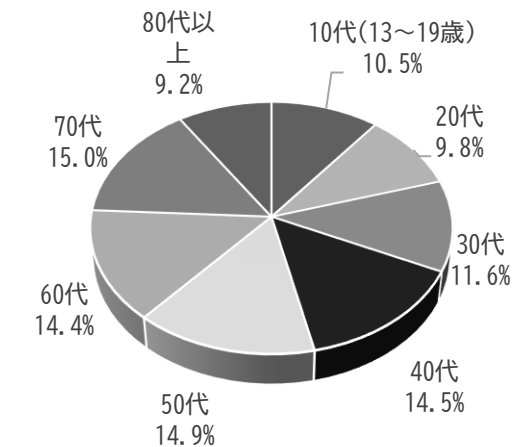
2. 家庭ごみに関する市民アンケート結果

(1) 属性

1-① あなたの年齢（○は、1つのみ）



【回答者の割合】



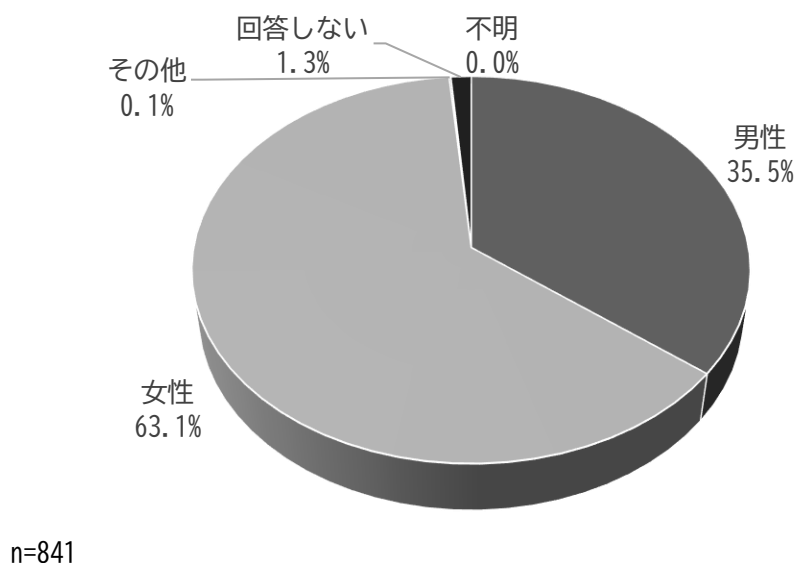
注1) アンケート対象とならない年齢を除く。

注2) 令和5年10月1日現在。

【(参考)実際の人口構成比】

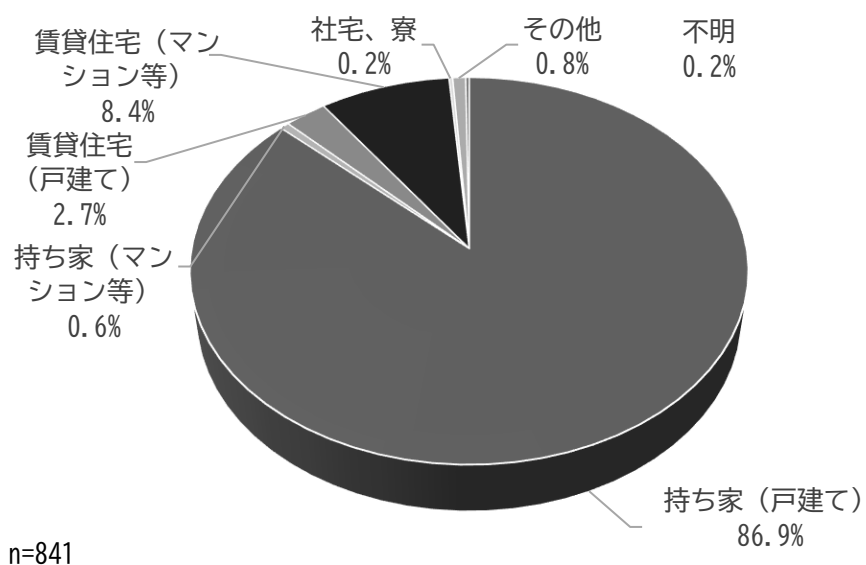
- ・回答者の割合は「70代」が25.0%、「60代」が19.3%と高い一方で、30代以下の年代は低い結果となっています。
- ・「60代」～「80代以上」では回答者の割合が実際の人口構成比を上回り、一方、「10代」～「50代」では、回答者の割合が実際の人口構成比を下回っています。特に、「10代」と「20代」については、回答者の割合が実際の構成比の半分程度となっています。

1-② あなたの性別（○は、1つのみ）



- ・回答者の割合は、男性が35.5%、女性が63.1%となり、女性の割合が高くなっています。

1-③ 住居形態（○は、1つのみ）



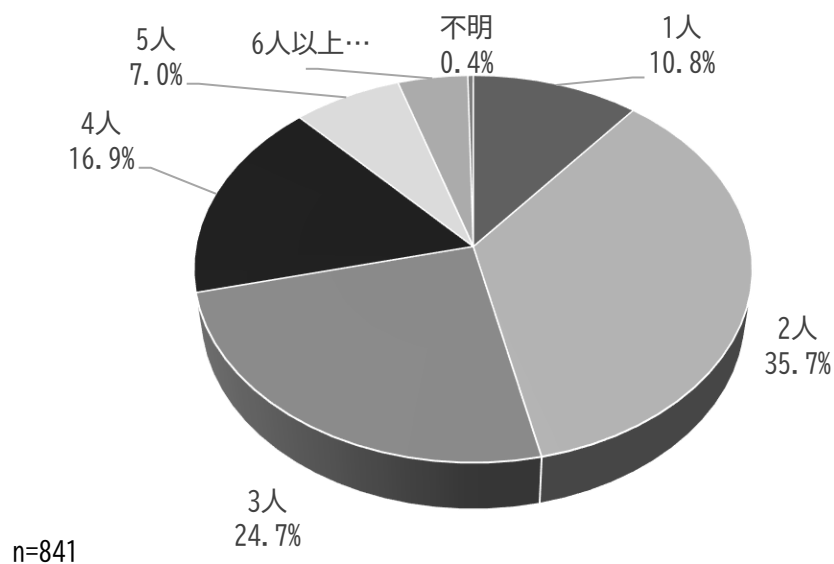
【その他の回答例^{注)}】

・有料老人ホーム

注) 他のその他回答については、すべて資料編に記載しています。

・住居形態は、「持ち家（戸建て）」が86.9%を占め、次いで、「賃貸住宅（マンション等）」が8.4%、「賃貸住宅（戸建て）」が2.7%と続いています。

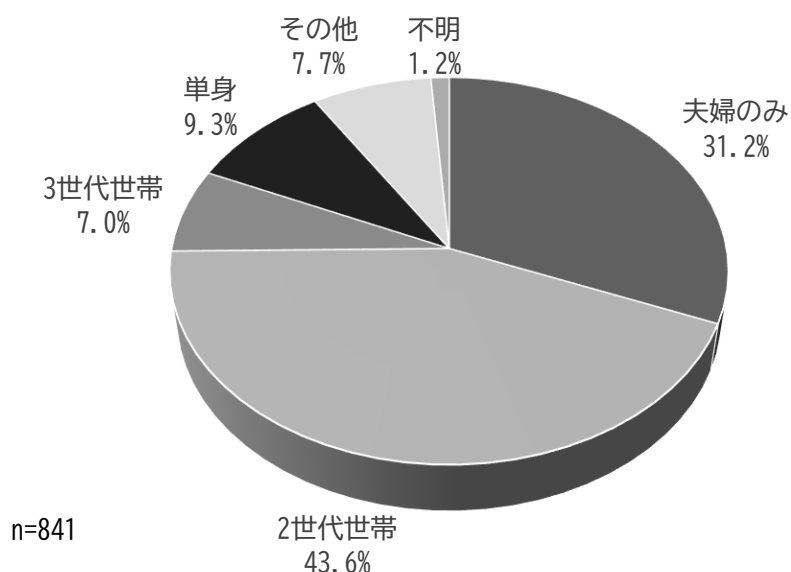
1-④ 世帯人数（○は、1つのみ）



・世帯人数は、「2人」世帯が35.7%と最も高く、次いで「3人」世帯が24.7%、「4人」世帯が16.9%と続いています。

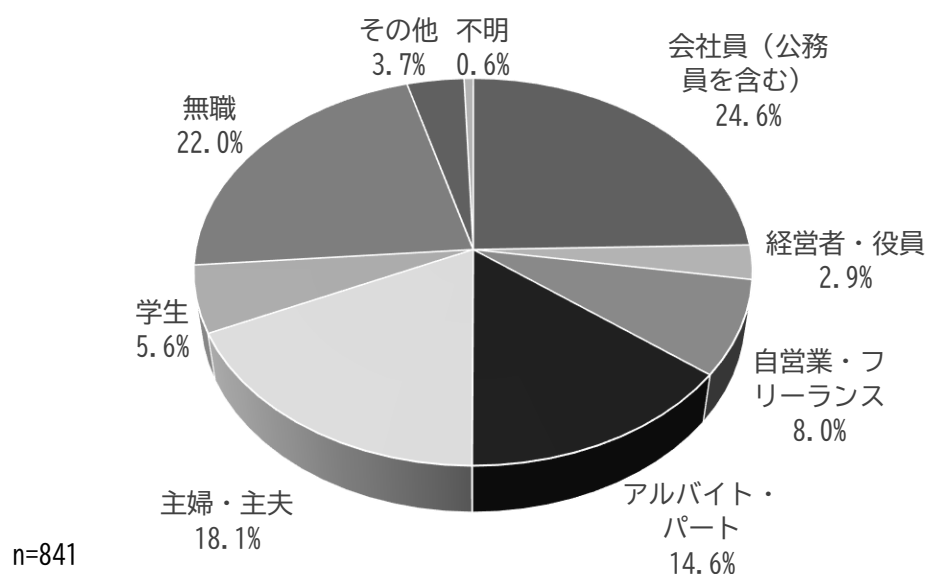
・「1人」世帯は、全体の1割程度となっています。

1-⑤ 家族構成（○は、1つのみ）



・家族構成は、「2 世代世帯」が 43.6%と最も高く、次いで、「夫婦のみ」の世帯が 31.2%、「3 世代世帯」が 7.0%と続いています。

1-⑥ 職業（○は、1つのみ）



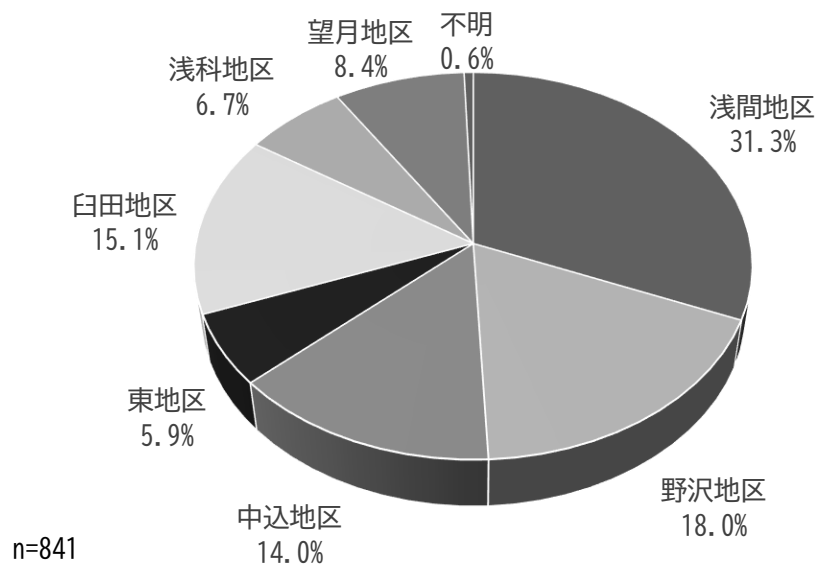
【その他の回答例^{注)}】

・作業所

注) 他のその他回答については、すべて資料編に記載しています。

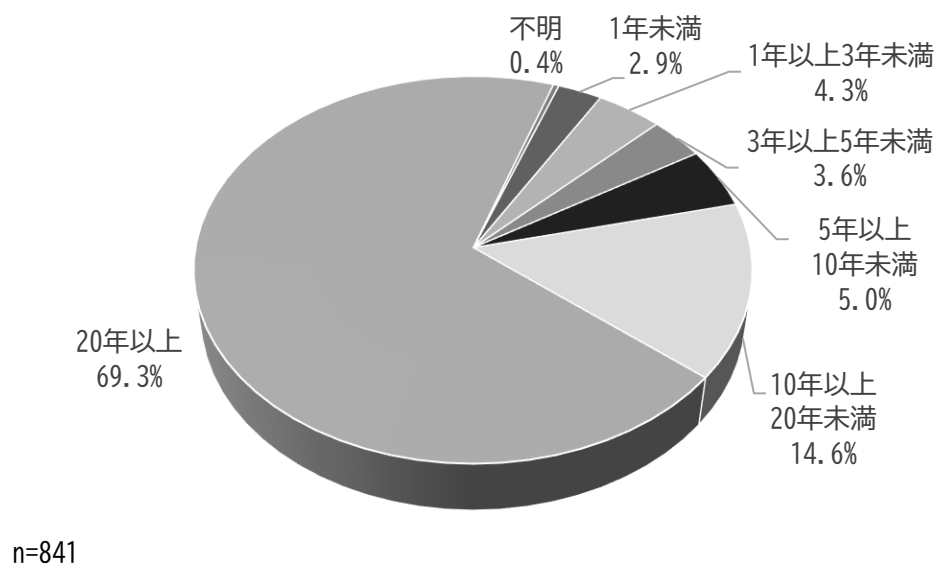
・職業は、「会社員（公務員を含む）」が 24.6%と最も高く、次いで「無職」が 22.0%、「主婦・主夫」が 18.1%と続いています。

1-⑦ お住いの地区（○は、1つのみ）



・居住地区は、「浅間地区」が 31.3%と最も高く、次いで「野沢地区」が 18.0%、「臼田地区」が 15.1%と続いています。

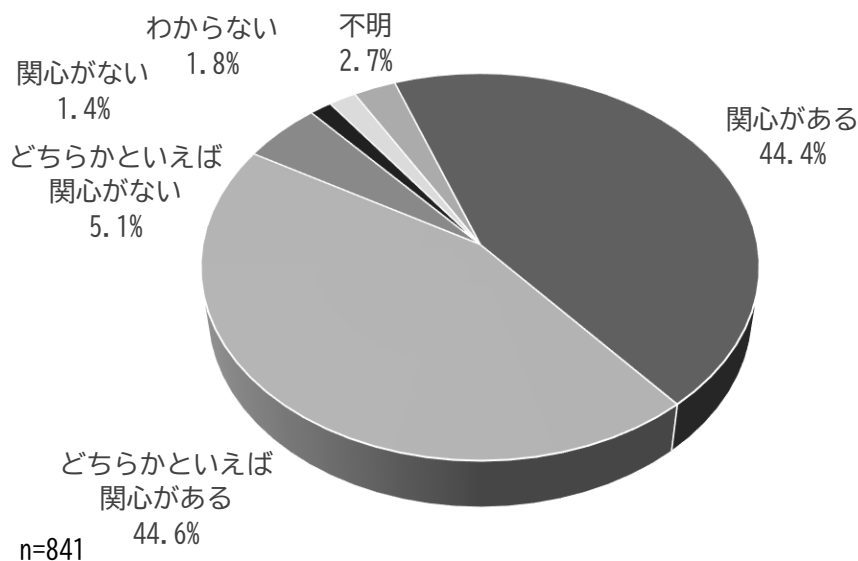
1-⑧ 佐久市での居住年数（○は、1つのみ）



・市内での居住年数は、「20 年以上」が 69.3%を占め、次いで「10 年以上 20 年未満」が 14.6%、「5 年以上 10 年未満」が 5.0%と続いています。

(2) ごみに関する認識や日常の行動について

2-① あなたは、ごみ問題やリサイクルについて関心がありますか。(〇は、1つのみ)



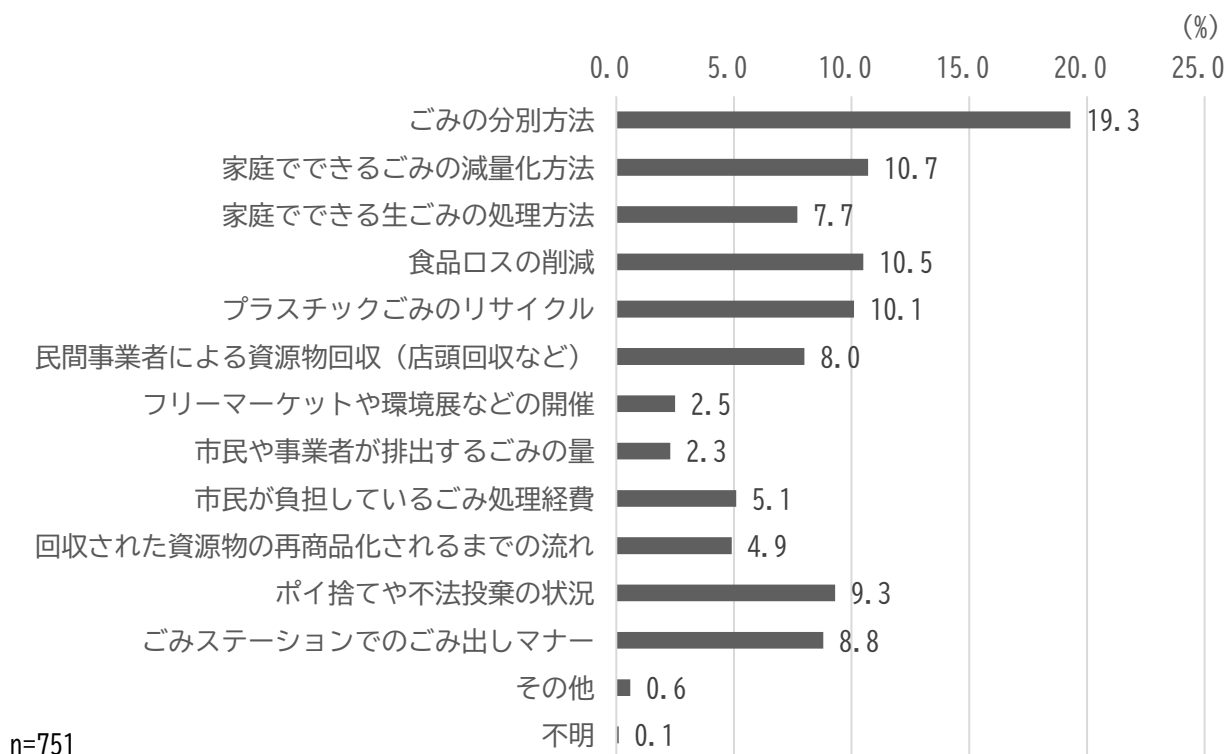
・ごみ問題やリサイクルについて、「関心がある」または「どちらかといえば関心がある」と回答した方は約9割を占め、ごみ問題やリサイクルへの関心が高くなっています。

(参考) 年齢とのクロス【設問「2-①」×設問「1-①」】

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	不明
関心がある(①)	28.2%	32.5%	22.1%	31.7%	37.3%	41.4%	61.0%	62.1%	50.0%
どちらかといえば関心がある(②)	43.6%	50.0%	64.9%	56.7%	54.9%	49.4%	31.0%	26.2%	25.0%
どちらかといえば関心がない	15.4%	7.5%	6.5%	7.7%	4.9%	6.8%	1.0%	2.9%	0.0%
関心がない	10.3%	7.5%	2.6%	0.0%	2.0%	0.0%	0.0%	1.0%	0.0%
わからない	2.6%	2.5%	3.9%	1.0%	1.0%	0.6%	1.4%	3.9%	0.0%
不明	0.0%	0.0%	0.0%	2.9%	0.0%	1.9%	5.7%	3.9%	25.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
①+②	71.8%	82.5%	87.0%	88.5%	92.2%	90.7%	91.9%	88.3%	75.0%

・若い世代ほど、ごみ問題やリサイクルへの関心が低い傾向にあり、特に「10代」の約1割が「関心がない」と回答しています。

2-② 2-①で「1. 関心がある」または「2. どちらかといえば関心がある」を選んだ方にお聞きします。どのようなことに関心がありますか。(〇は、いくつでも可)



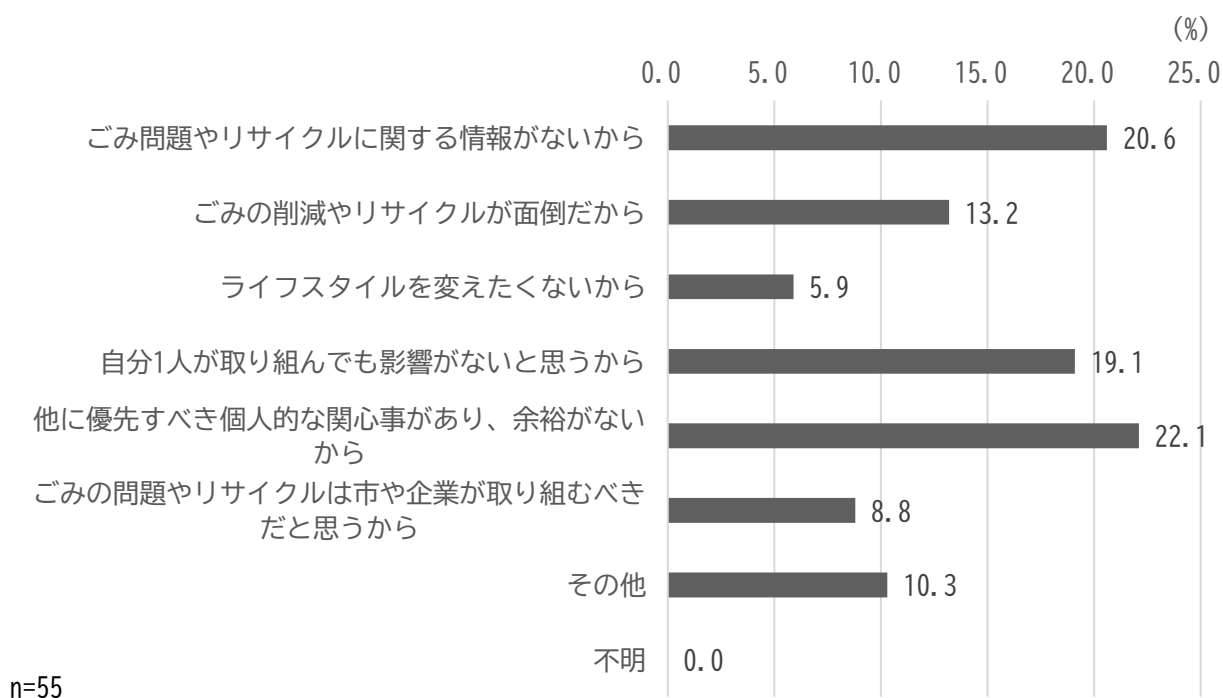
【その他の回答例^{注)}】

- ・マイクロプラスチックによる海の魚などへの影響。
- ・ごみステーションの利用時間が守られていないこと。
- ・町内会費が6～7万円と高いため入会できず、ごみステーションが使えない。
- ・まだ着られる服をごみに出すのは気が引けるため、「古着ワクチン」のようなリユースに関する取組を行ってほしい。

注) 主なその他の回答は、要約したものです。原文については、すべて資料編に記載しています。

- ・「ごみの分別方法」への関心が19.3%と最も高く、他の選択肢の約2倍となっています。
- ・「ごみの分別方法」のほか、「家庭でできるごみの減量化方法」「食品ロスの削減」「プラスチックごみのリサイクル」への関心が上位となっています。

2-③ 2-①で「3. どちらかといえば関心がない」または「4. 関心がない」を選んだ方にお聞きします。関心がない理由は何ですか。(〇は、いくつでも可)



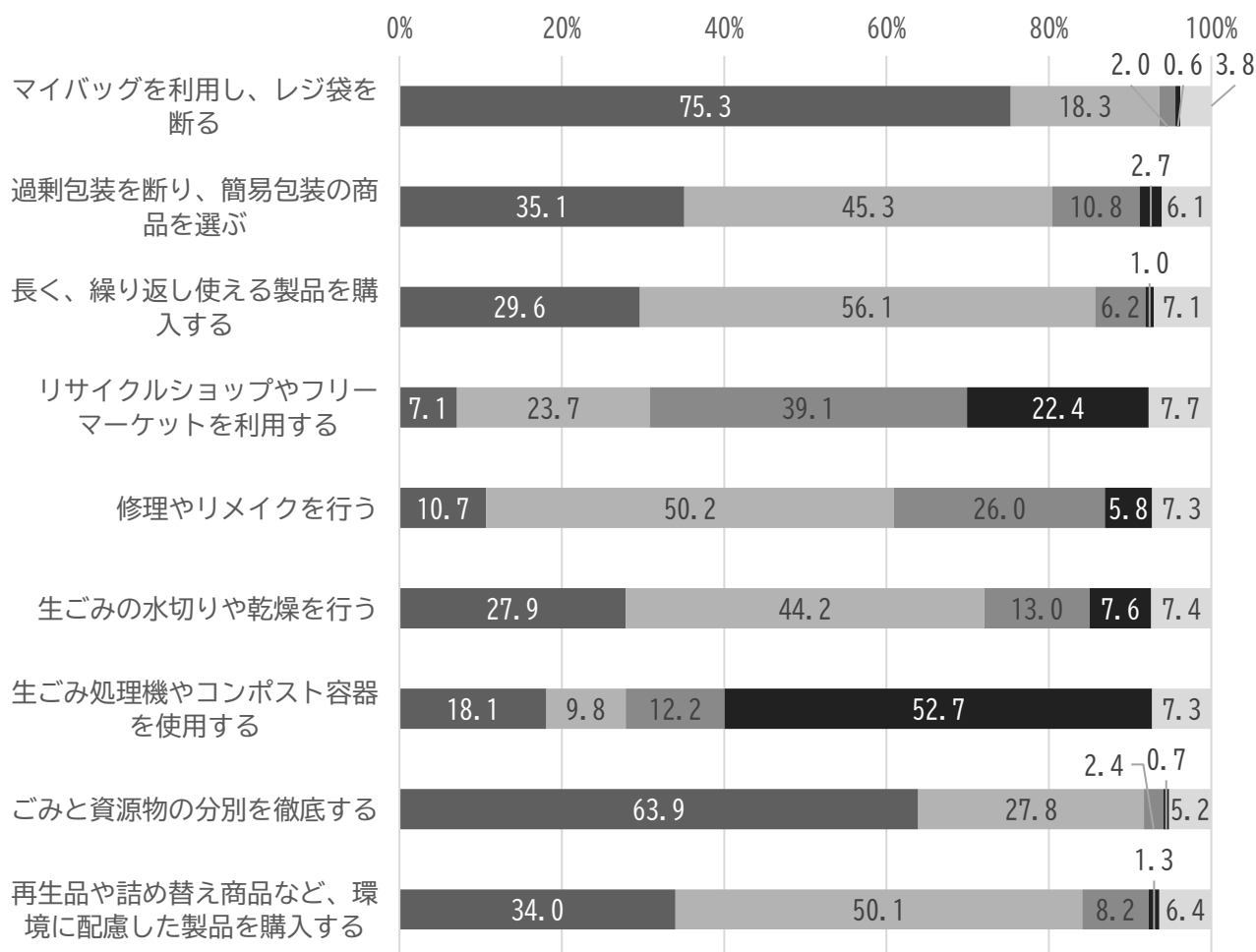
【その他の回答例^{注)}】

・家族が分別しているから。

注) 主なその他の回答は、要約したものです。原文については、すべて資料編に記載しています。

・ごみ問題やリサイクルへの関心がない理由としては、「他に優先すべき個人的な関心事があり、余裕がないから」「ごみ問題やリサイクルに関する情報がないから」「自分1人が取り組んでも影響がないと思うから」といった回答の割合が高くなっています。

2-④ あなたのご家庭で、ごみの減量化・リサイクルについて、以下の取組をどの程度行っていますか。（〇は、取組ごとに1つのみ）



n=841

■常に行う ■ある程度行う ■あまり行わない ■まったく行わない ■不明

- ・「マイバッグを利用し、レジ袋を断る」と「ごみと資源物の分別を徹底する」は、「常に行う」の割合が高く、「ある程度行う」との合計は9割を超えています。
- ・「過剰包装を断り、簡易包装の商品を選ぶ」「長く、繰り返し使える製品を購入する」「再生品や詰め替え商品など、環境に配慮した製品を購入する」は、「常に行う」または「ある程度行う」の合計が8割を超え、「生ごみの水切りや乾燥を行う」も7割を超えています。
- ・一方、「リサイクルショップやフリーマーケットを利用する」と「生ごみ処理機やコンポスト容器を使用する」は、「常に行う」または「ある程度行う」の合計が3割を下回っています。

(3) ごみの排出状況について

3-① あなたのご家庭では、以下の品目をどのように出していますか。出し方が複数該当する場合には、主な出し方をお答えください。(〇は、品目ごとに1つのみ)

項目	ごみステーション				販売店への返却、店頭回収	民間が設置している無料回収
	可燃ごみ	埋立ごみ	資源物	生ごみ ^{注2)}		
生ごみ	67.9	0.6	0.1	7.5	0.0	0.2
新聞紙・折込広告	4.0	0.0	49.0	0.4	7.1	27.0
ダンボール	1.2	0.1	50.3	0.2	7.1	33.4
古本・雑誌	1.0	0.1	53.9	0.1	5.8	31.0
雑がみ	20.0	0.1	45.5	0.1	3.1	22.7
飲料用の缶類	0.2	1.3	62.5	0.2	8.4	17.2
ペットボトル	0.5	0.1	35.8	0.0	32.8	26.4
雑びん	0.0	3.2	80.9	0.4	3.0	4.0
容器包装プラスチック ^{注1)}	5.6	1.8	74.6	0.2	7.6	5.0
金属類	0.1	9.0	62.5	0.4	1.0	8.4

項目	家庭など ^{注3)} で自ら処理	わからない	その他	発生しない	不明	合計
生ごみ	19.6	0.5	0.4	0.4	2.9	100.0
新聞紙・折込広告	1.2	0.5	2.1	4.9	3.8	100.0
ダンボール	1.4	0.5	2.0	0.5	3.2	100.0
古本・雑誌	0.5	0.4	2.3	2.0	3.0	100.0
雑がみ	1.3	1.2	1.4	1.3	3.2	100.0
飲料用の缶類	0.5	0.7	4.8	0.7	3.3	100.0
ペットボトル	0.4	0.5	0.4	0.2	3.0	100.0
雑びん	0.6	1.5	1.4	1.1	3.9	100.0
容器包装プラスチック ^{注1)}	0.0	1.4	0.2	0.1	3.4	100.0
金属類	0.5	4.6	5.4	2.9	5.2	100.0

注1) プラマークのついているプラスチックです。商品の容器や商品を梱包するために利用されています。ただし、ペットボトルを除きます。

注2) ごみステーションでの生ごみの回収があるのは、白田地区のみです。

注3) 生ごみを堆肥にしたり、畑に埋めたり、家畜の飼料にしたりすることが該当します。

注4) ごみの出し方の割合が高い上位3つに網掛けを行い、濃い方から順に、1位、2位、3位となっています。

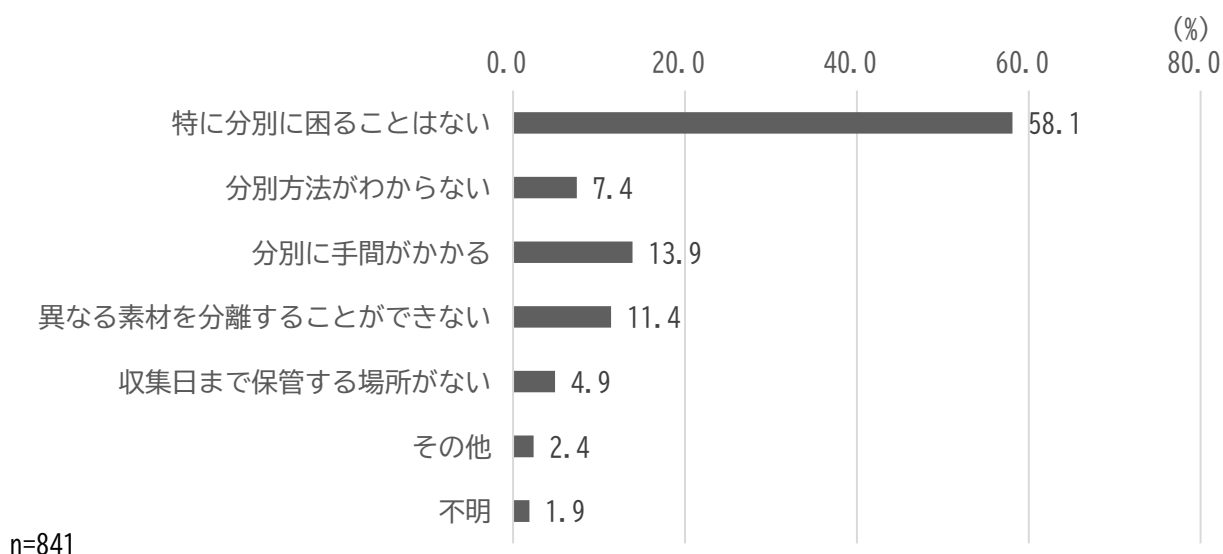
- ・「生ごみ」の 67.9%が「ごみステーション（可燃ごみ）」に出され、19.6%が「家庭などで自ら処理」され、7.5%が「ごみステーション（生ごみ）」に出されています。
- ・「新聞紙・折込広告」や「ダンボール」などの資源物は、「資源物」に最も多く出され、次いで「民間が設置している無料回収」、「販売店への返却、店頭回収」と続いています。
- ・「雑がみ」の2割は、可燃ごみに出されています。
- ・「新聞紙・折込広告」は 4.0%が、「容器包装プラスチック」は 5.6%が「可燃ごみ」に出されています。
- ・「ペットボトル」は、32.8%が「販売店への返却、店頭回収」に出されています。
- ・「雑びん」は 3.2%が、「金属類」は 9.0%が「埋立ごみ」に出されています。

(参考) 地区とのクロス【設問「3-① (生ごみ)」×設問「1-⑦」】

	浅間 地区	野沢 地区	中込 地区	東地区	臼田 地区	浅科 地区	望月 地区	不明	臼田 地区以外
ごみステーション 可燃ごみ (①)	79.1%	84.1%	82.2%	72.0%	15.0%	66.1%	64.8%	20.0%	77.3%
ごみステーション 生ごみ (②)	0.4%	1.3%	0.8%	0.0%	46.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%
家庭などで自ら 処理 (③)	14.8%	10.6%	13.6%	22.0%	33.9%	28.6%	31.0%	40.0%	17.1%
①～③以外	5.7%	4.0%	3.4%	6.0%	4.7%	5.4%	4.2%	40.0%	5.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

- ・「臼田地区以外」の地区では、「生ごみ」の77.3%が「ごみステーション (可燃ごみ)」に出され、17.1%が「家庭などで自ら処理」されています。
- ・「生ごみ」の堆肥化が行われている「臼田地区」では、「生ごみ」の46.5%が「ごみステーション (生ごみ)」に出され、33.9%が「家庭などで自ら処理」されているため、「ごみステーション (可燃ごみ)」への排出は、15.0%となっています。
- ・「生ごみ」を「家庭などで自ら処理」する割合は「臼田地区」が最も高く、「望月地区」「浅科地区」「東地区」でも高くなっています。

3-② 雑がみの分別に関して、困っていることはありますか。(〇は、いくつでも可)



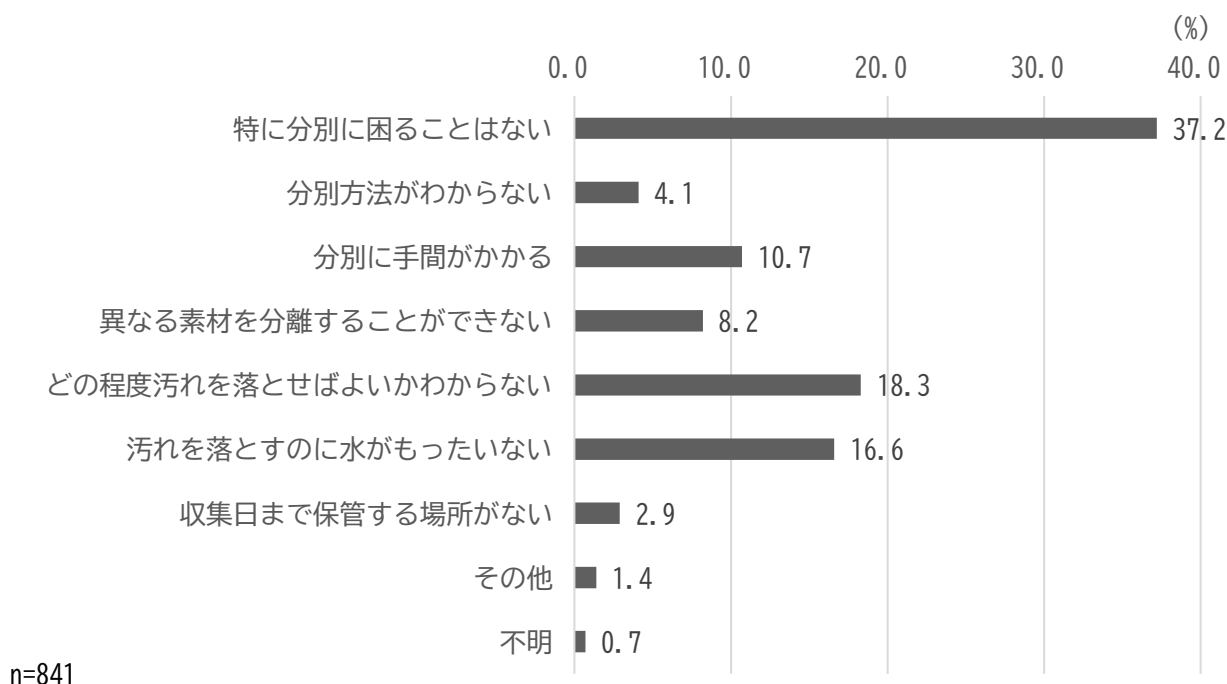
【その他の回答例^{注)}】

- ・封筒やはがきなどプライバシーが気になり、資源で出したいくない。
- ・雑がみを入れる袋の確保に困る。

注) 主なその他の回答は、要約したものです。原文については、すべて資料編に記載しています。

- ・「特に分別に困ることはない」と回答した方は、58.1%となっています。
- ・困りごとでは、「分別に手間がかかる」が13.9%と最も高く、次いで「異なる素材を分離することができない」が11.4%、「分別方法がわからない」が7.4%と続いています。

3-③ 容器包装プラスチックの分別に関して、困っていることはありますか。(〇は、いくつでも可)



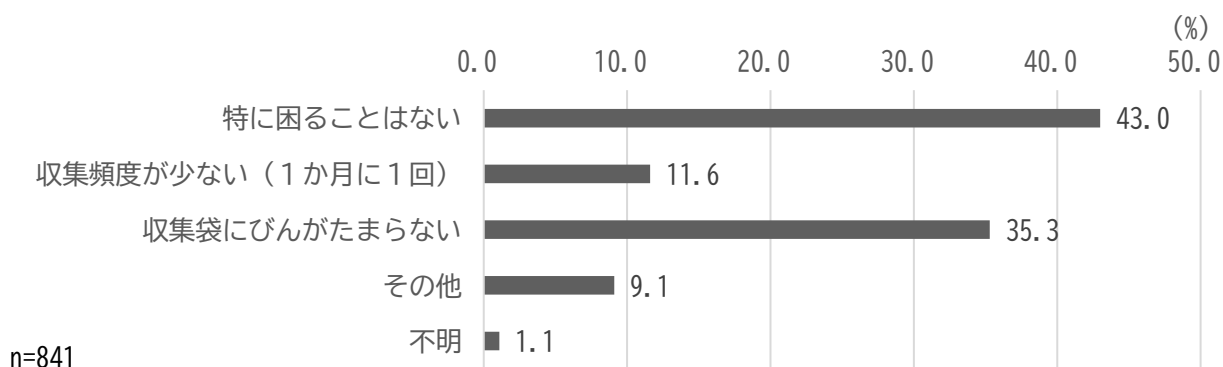
【その他の回答例^{注)}】

- ・汚れを落とした後、乾燥に時間がかかる。
- ・正しく分別ができているか不安。

注) 主なその他の回答は、要約したものです。原文については、すべて資料編に記載しています。

- ・「容器包装プラスチック」のほか、別の設問で「雑がみ」と「雑びん」についても、分別に関して困っていることはないかを尋ねていますが、「容器包装プラスチック」について、「特に分別に困ることはない」と回答した方が 37.2%と最も低い結果となっており、「雑がみ」「雑びん」と比較して、困っている人の割合が高くなっています。
- ・困りごとでは、「どの程度汚れを落とせばよいかわからない」が 18.3%と最も高く、次いで「汚れを落とすのに水がもったいない」が 16.6%と続いています。

3-④ 雑びんの収集に関して、困っていることはありますか。(〇は、いくつでも可)



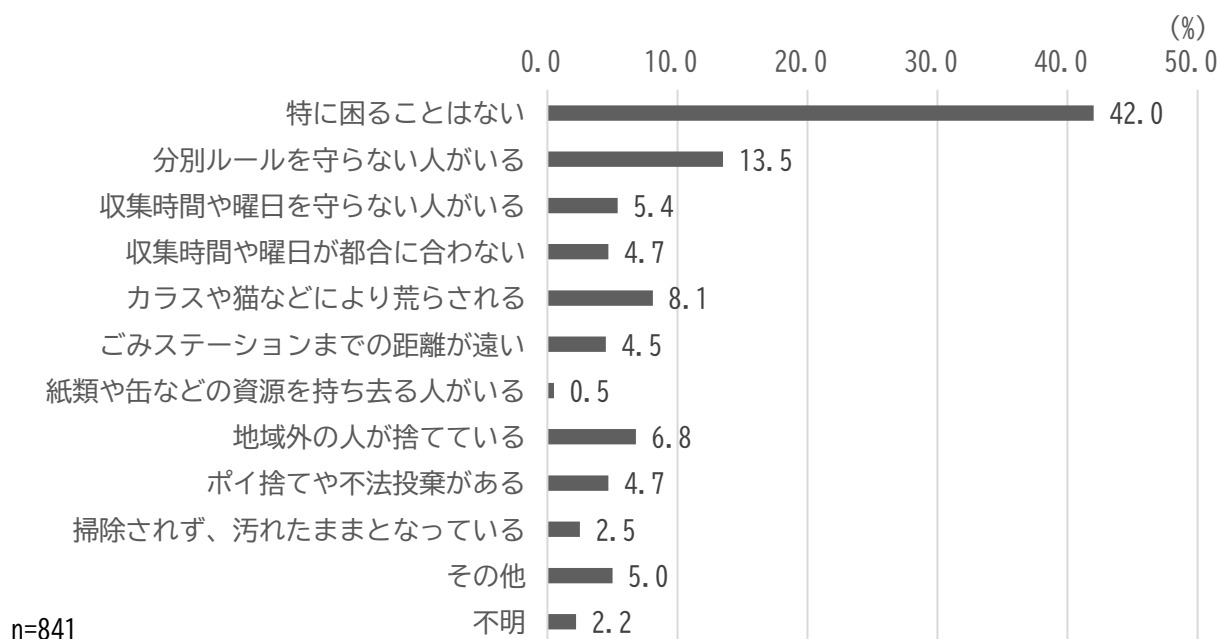
【その他の回答例^{注)}】

- ・びんの色や材質の判別が難しい。
- ・分別区分が多い(色別ではなく、一緒に出せるようにしてほしい)
- ・一升瓶を市で回収してほしい。

注) 主なその他の回答は、要約したものです。原文については、すべて資料編に記載しています。

- ・「特に分別に困ることはない」と回答した方は、43.0%となっています。
- ・「収集袋にびんがたまらない」と回答した方は、約 1/3 にあたる 35.3%となっています。
- ・「その他」と回答した方は、9.1% (n=90) です。回答数の上位には、びんの色や材質の判別が難しいといった回答が 29、分別区分が多いや色別ではなく、一緒に出せるようにしてほしいといった回答が 20 あります。

3-⑤ ごみステーションに関して、困っていることはありますか。(〇は、いくつでも可)



【その他の回答例^{注)}】

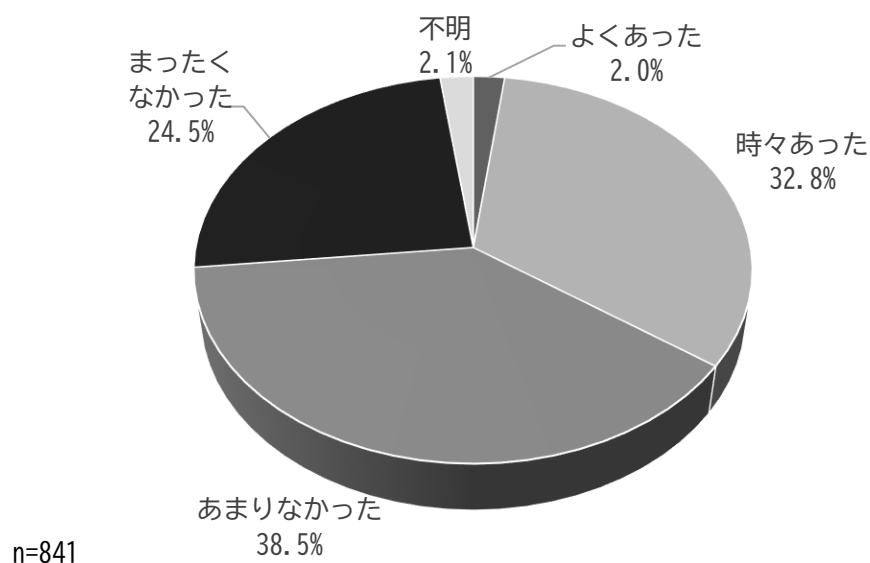
- ・扉が開けにくい、ごみを置くスペースが狭いなどごみステーションに構造的な問題がある。
- ・分別が守られていないごみ袋の排出者への返却と返却できない場合の分別作業。

注) 主なその他の回答は、要約したものです。原文については、すべて資料編に記載しています。

- ・「特に分別に困ることはない」と回答した方は、42.0%となっています。
- ・困りごとでは、「分別ルールを守らない人がある」が 13.5%と最も高く、次いで「カラスや猫などにより荒らされる」「地域外の人が捨てている」の順となっています。

(4) 食品ロスの発生状況や日常の行動について

4-① この1か月間に、消費期限・賞味期限切れや腐らしてしまったなどの理由で、食品を捨てたことはありましたか。(〇は、1つのみ)



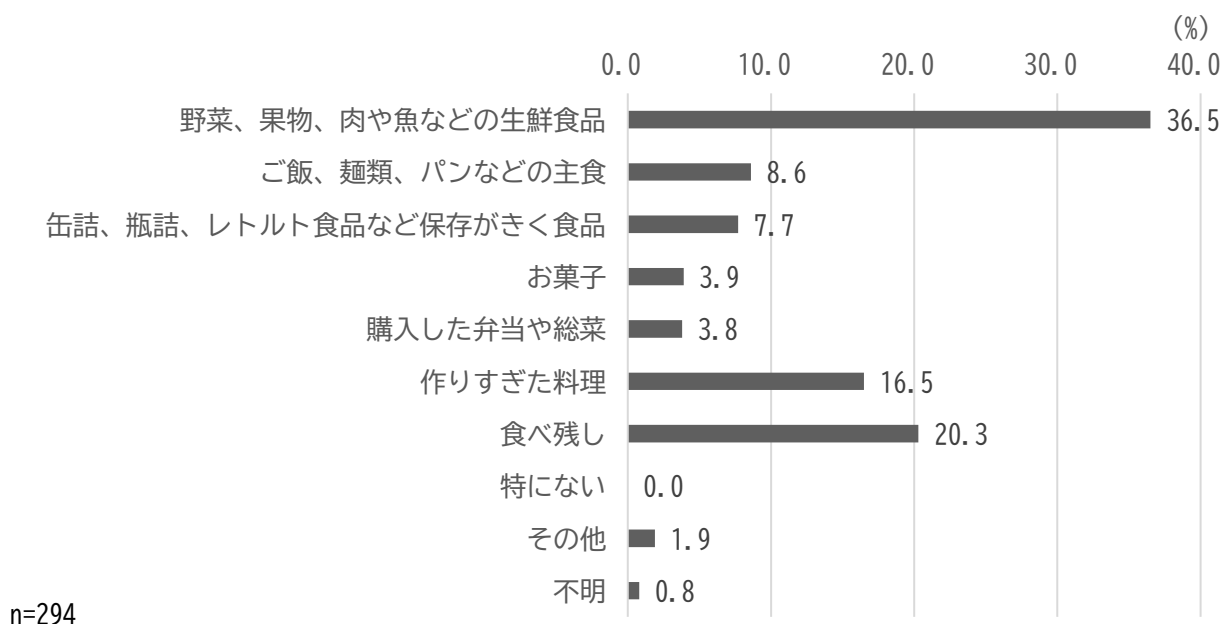
・「よくあった」が2.0%、「時々あった」が32.8%で、約1/3を占めています。

(参考) 年齢とのクロス【設問「4-①」×設問「1-①」】

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	不明
よくあった(①)	2.6%	0.0%	5.2%	3.8%	1.0%	0.6%	2.4%	1.0%	0.0%
時々あった(②)	33.3%	40.0%	40.3%	40.4%	35.3%	35.8%	26.2%	23.3%	25.0%
あまりなかった	25.6%	42.5%	37.7%	35.6%	38.2%	38.3%	44.8%	33.0%	50.0%
まったくなかった	38.5%	17.5%	15.6%	19.2%	25.5%	24.7%	23.3%	35.9%	0.0%
不明	0.0%	0.0%	1.3%	1.0%	0.0%	0.6%	3.3%	6.8%	25.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
①+②	35.9%	40.0%	45.5%	44.2%	36.3%	36.4%	28.6%	24.3%	25.0%

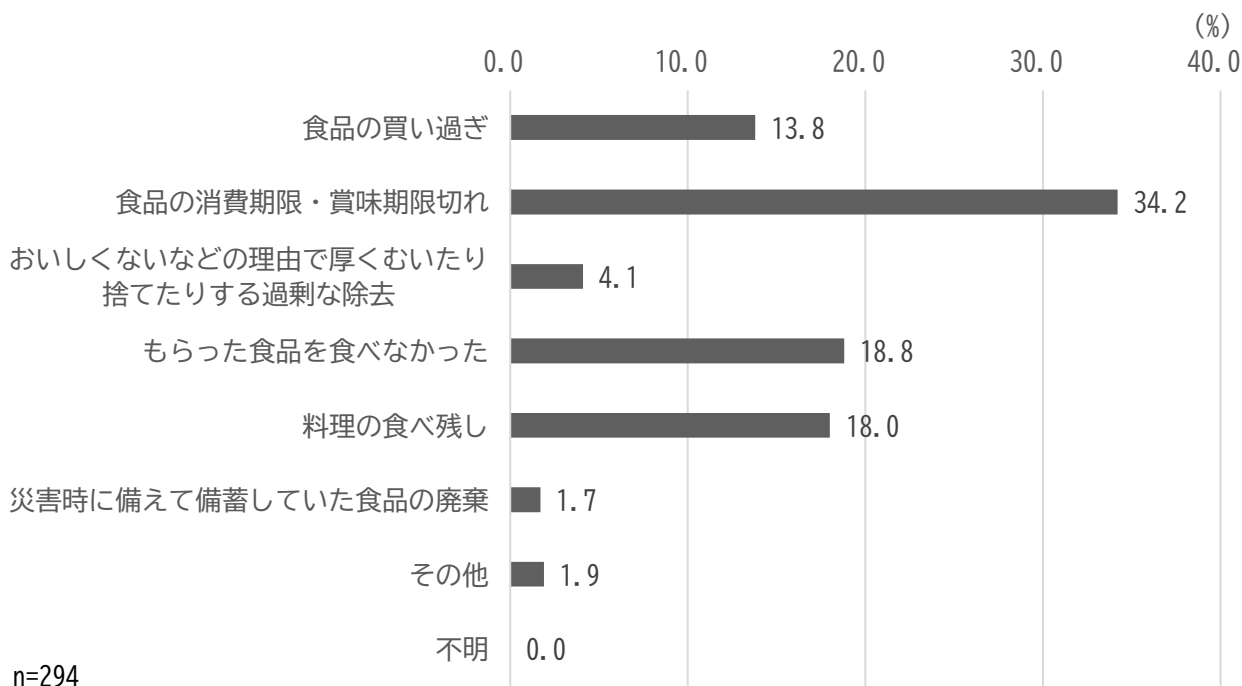
・食品ロスの発生は、「20代」～「40代」の割合が高くなっています。

4-② ④-1で「1. よくあった」または「2. 時々あった」を選んだ方にお聞きます。捨てた食品は何でしたか。(〇は、いくつでも可)



・捨てられた食品は、「野菜、果物、肉や魚などの生鮮食品」が 36.5%と最も高く、次いで「食べ残し」が 20.3%、「作りすぎた料理」が 16.5%と続いています。

4-③ ④-1で「1. よくあった」または「2. 時々あった」を選んだ方にお聞きます。家庭で食品ロスが発生するのはどのようなことが原因ですか。(〇は、いくつでも可)



【その他の回答例^{注)}】

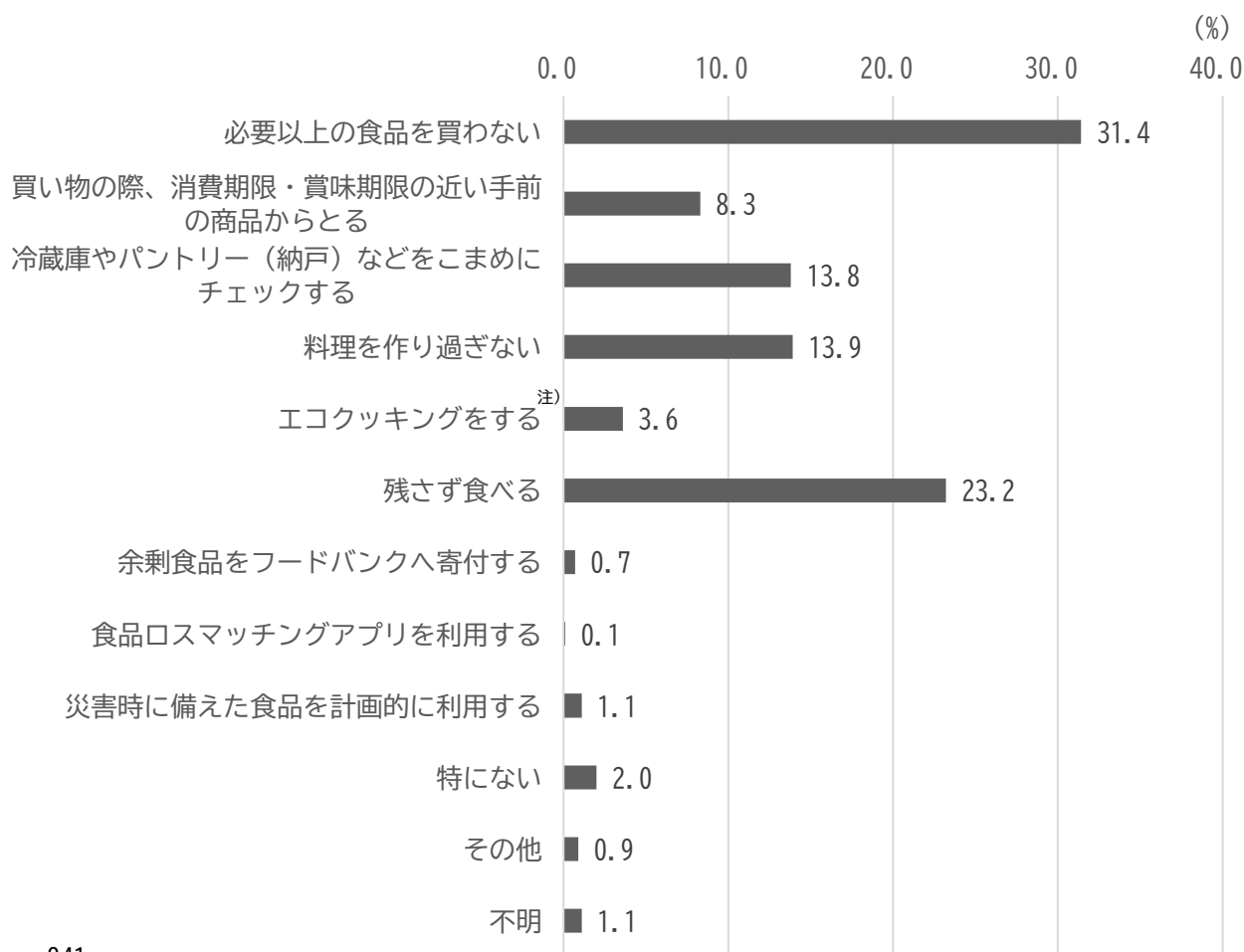
・冷蔵庫の整理ができていないから。

- ・食品があるのを忘れてしまったから。

注) 主なその他の回答は、要約したものです。原文については、すべて資料編に記載しています。

- ・食品ロスの発生原因は、「食品の消費期限・賞味期限切れ」が 34.2%と最も高く、次いで「もらった食品を食べなかった」が 18.8%、「料理の食べ残し」が 18.0%と続いています。

4-④ 食品ロスを減らすために日頃から行っていることはありますか。(〇は、いくつでも可)



注) 野菜の皮や余った食材、残った料理などを工夫して調理することで、食品ロスを最小限にする料理方法です。

【その他の回答例^{注)}】

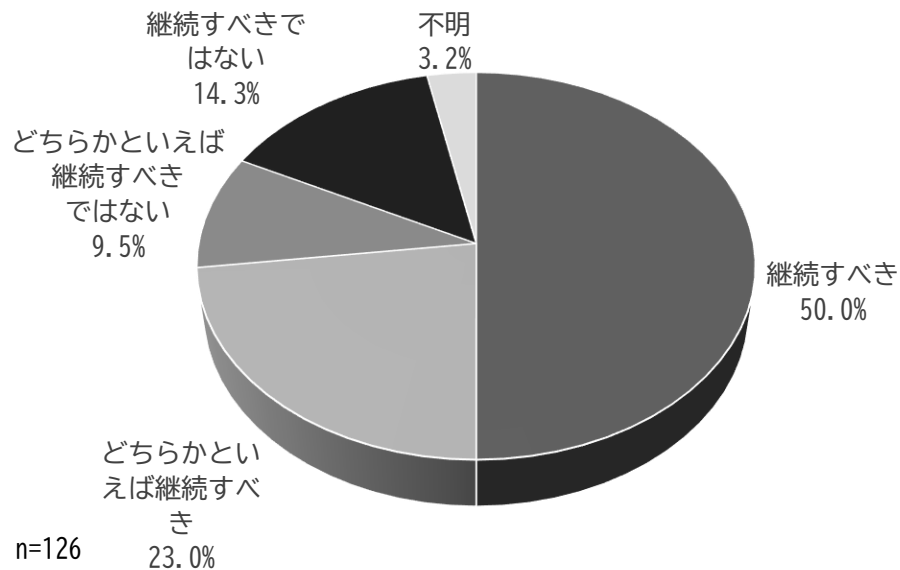
- ・賞味期限の近い食品から料理する。
- ・冷凍食品は、使う分だけ解凍して使う。
- ・おすそわけをする。
- ・保管している食品の消費・賞味期限を把握しておく。

注) 主なその他の回答は、要約したものです。原文については、すべて資料編に記載しています。

- ・食品ロスを減らすために日頃から行っていることは、「必要以上の食品を買わない」が 31.4%と最も高く、次いで「残さず食べる」が 23.2%、「料理を作り過ぎない」が 13.9%、「冷蔵庫やパントリー（納戸）などをこまめにチェックする」が 13.8%と続いています。
- ・「余剰食品をフードバンクへ寄付する」は、0.7%にとどまっています。

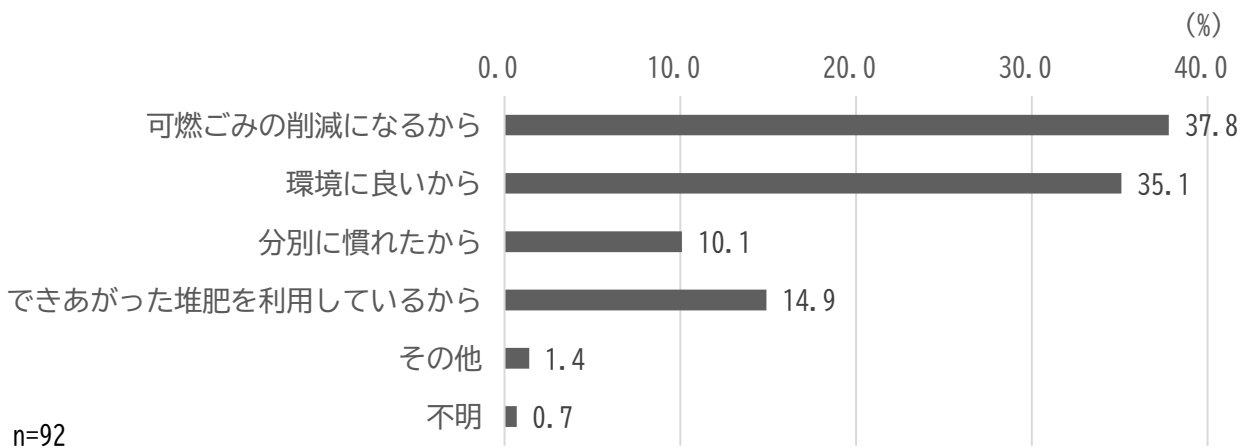
(5) ご家庭から出る生ごみの堆肥化について（臼田地区にお住まいの方限定）

5-① 臼田地区では、ご家庭から出る生ごみを「佐久市堆肥製産センター」で堆肥化していますが、継続すべきだと思いますか。（○は、1つのみ）



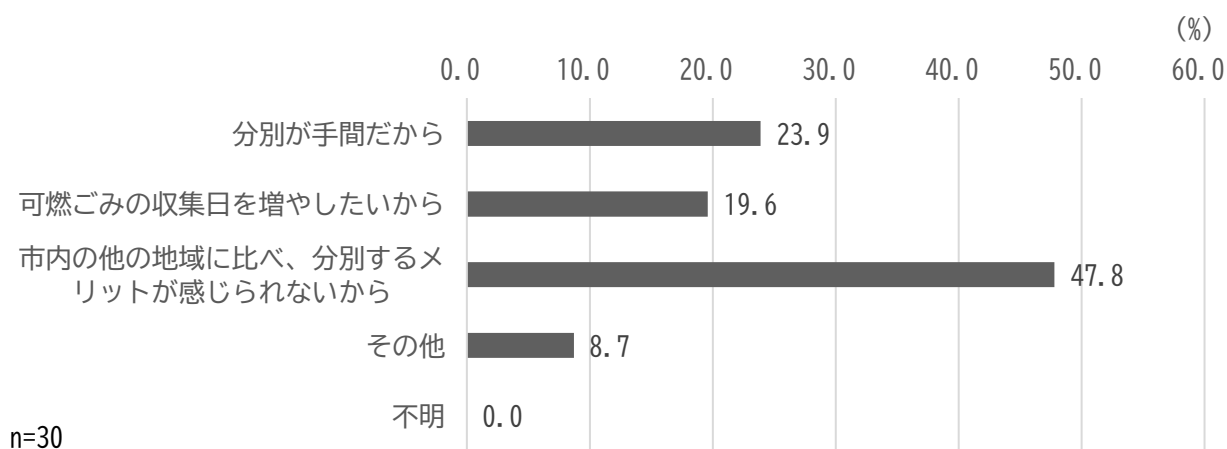
・「継続すべき」が 50.0%、「どちらかといえば継続すべき」が 23.0%で、約 3/4 を占めています。

5-② 5-①で「1. 継続すべき」または「2. どちらかといえば継続すべき」を選んだ方にお聞きします。継続すべきと考える理由は何ですか。（○は、いくつでも可）



・継続すべきと考える理由は、「可燃ごみの削減になるから」が 37.8%、「環境に良いから」が 35.1%となっています。

5-③ 5-①で「3. どちらかといえば継続すべきではない」または「4. 継続すべきではない」を選んだ方にお聞きします。継続すべきでないとする理由は何ですか。(〇は、いくつでも可)



【その他の回答例^{注)}】

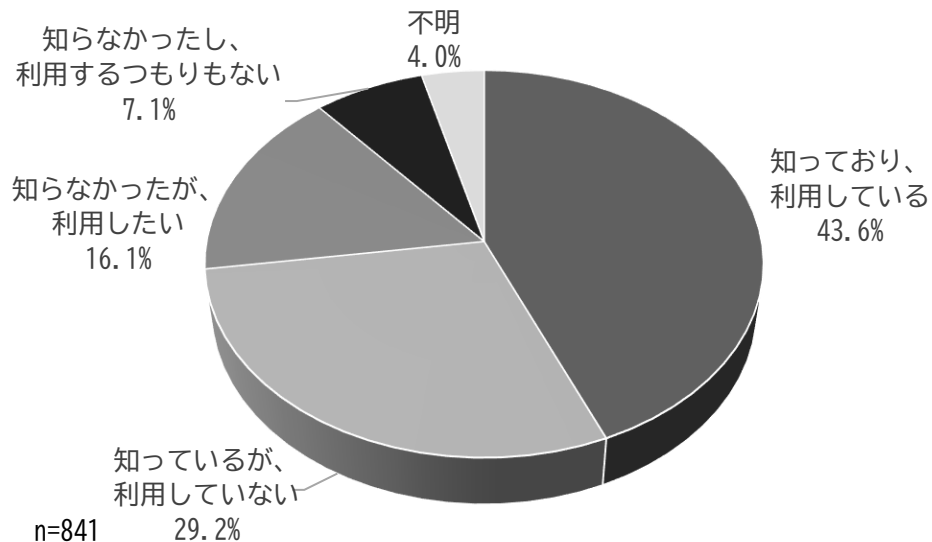
・おむつを週2回捨てたいから。

注) 主なその他の回答は、要約したものです。原文については、すべて資料編に記載しています。

・継続すべきでないはと考える理由は、半数近くにあたる 47.8%の方が「市内の他の地域に比べ、分別するメリットが感じられないから」と回答し、「分別が手間だから」と「可燃ごみの収集日を増やしたいから」も約2割となっています。

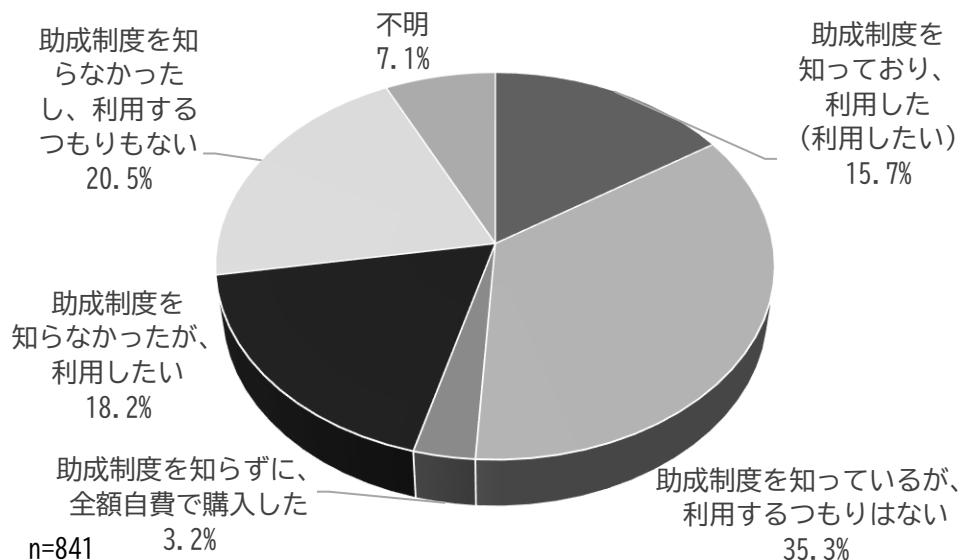
(6) 佐久市の取組について

6-① うな沢第2最終処分場の受入は、平日（受付時間：8時30分～12時00分、13時00分～16時00分）と隔月第4日曜日（令和5年度の受入は4月、6月、8月、10月、12月、3月で、受付時間は平日と同じ）であることを知っていますか。（○は、1つのみ）



・「知っており、利用している」と「知っているが、利用していない」の合計が 72.8%であり、うな沢第2最終処分場の受入に関する情報が、7割の方に届いています。

6-② 佐久市では、生ごみ処理機または生ごみ処理容器を購入された方を対象に、予算の範囲内で補助金を交付していますが、この助成制度を知っていますか。（○は、1つのみ）



・「助成制度を知っており、利用した（利用したい）」が 15.7%、「助成制度を知っているが、利用するつもりはない」が 35.3%で、約半数の方が助成制度を知っています。
 ・「助成制度を知らなかったが、利用したい」と回答した方は、18.2%です。

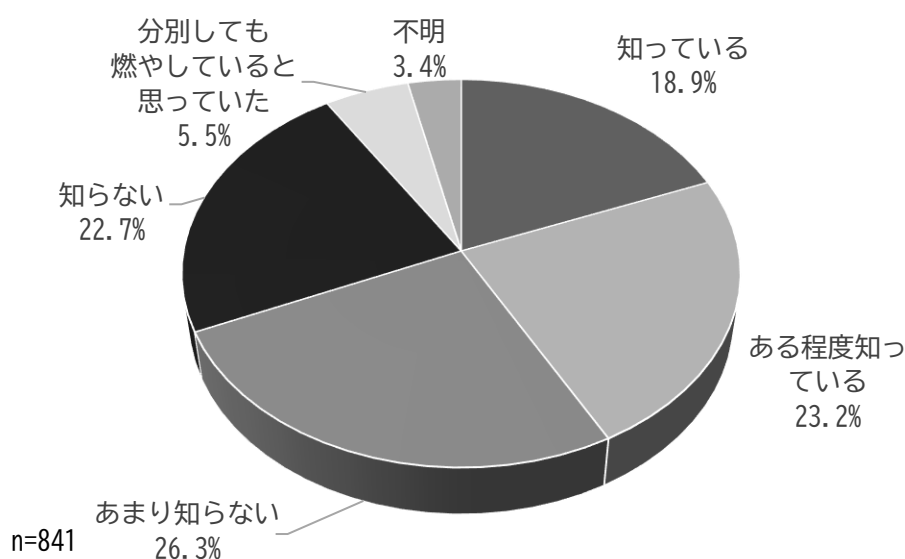
(参考) 年齢とのクロス【設問「6-②」×設問「1-①」】

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	不明
助成制度を知っており、利用した(利用したい)(①)	10.3%	7.5%	26.0%	17.3%	13.7%	15.4%	18.6%	8.7%	0.0%
助成制度を知っているが、利用するつもりはない(②)	17.9%	25.0%	20.8%	40.4%	34.3%	38.3%	38.6%	41.7%	25.0%
助成制度を知らずに、全額自費で購入した(③)	0.0%	2.5%	0.0%	1.9%	2.0%	4.3%	6.2%	1.9%	0.0%
助成制度を知らなかったが、利用したい(④)	28.2%	22.5%	29.9%	16.3%	22.5%	19.1%	11.9%	12.6%	25.0%
助成制度を知らなかったし、利用するつもりもない(⑤)	38.5%	42.5%	22.1%	22.1%	24.5%	17.3%	14.8%	15.5%	0.0%
不明	5.1%	0.0%	1.3%	1.9%	2.9%	5.6%	10.0%	19.4%	50.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
①+② (制度を知っていた)	28.2%	32.5%	46.8%	57.7%	48.0%	53.7%	57.1%	50.5%	25.0%
③+④+⑤ (制度を知らなかった)	66.7%	67.5%	51.9%	40.4%	49.0%	40.7%	32.9%	30.1%	25.0%

- ・「助成制度を知っており、利用した」は、「30代」が26.0%と最も高く、次いで「70代」が18.6%、「40代」が17.3%と続いています。
- ・「助成制度を知っているが、利用するつもりはない」は、10代～30代と比較して、40代～80代では約4割と高くなっています。
- ・「10代」「20代」は「助成制度を知らなかったし、利用するつもりもない」の割合が約4割と高くなっています。
- ・「制度を知らなかった」(③+④+⑤)割合は、年齢が若い世代ほど高い傾向にあります。

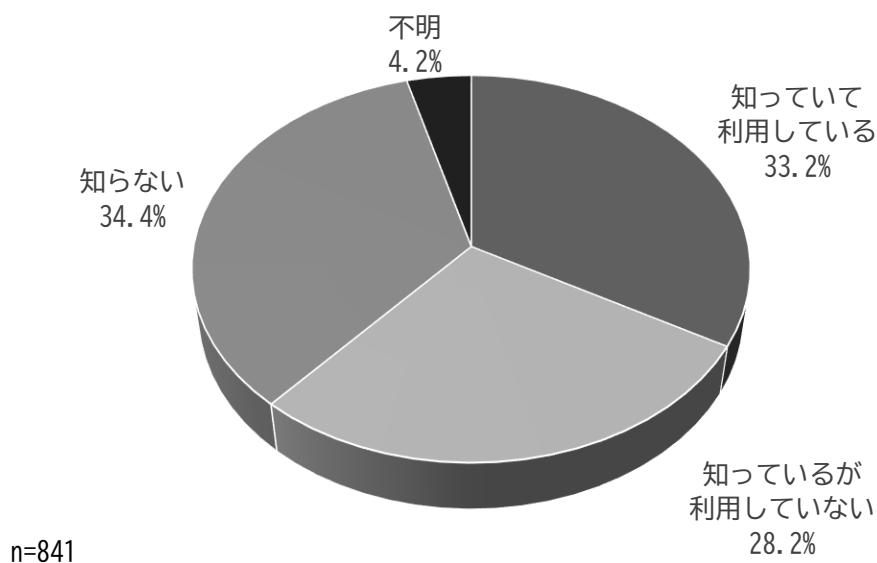
6-③ 佐久市が収集した容器包装プラスチックは、「日本容器包装リサイクル協会」を通じて、最終的にリサイクル工場へ引き渡され、別の製品として再生されていることを知っていますか。

(〇は、1つのみ)



- ・「あまり知らない」または「知らない」と回答した方は、約半数にのぼっています。
- ・「分別しても燃やしていると思っていた」と回答した方が5.5%います。

6-④ 佐久市ではスマートフォンアプリ「LINE」を使い、ごみの分別方法や防災情報、イベント情報など、様々な市政情報を発信していることを知っていますか。(〇は、1つのみ)



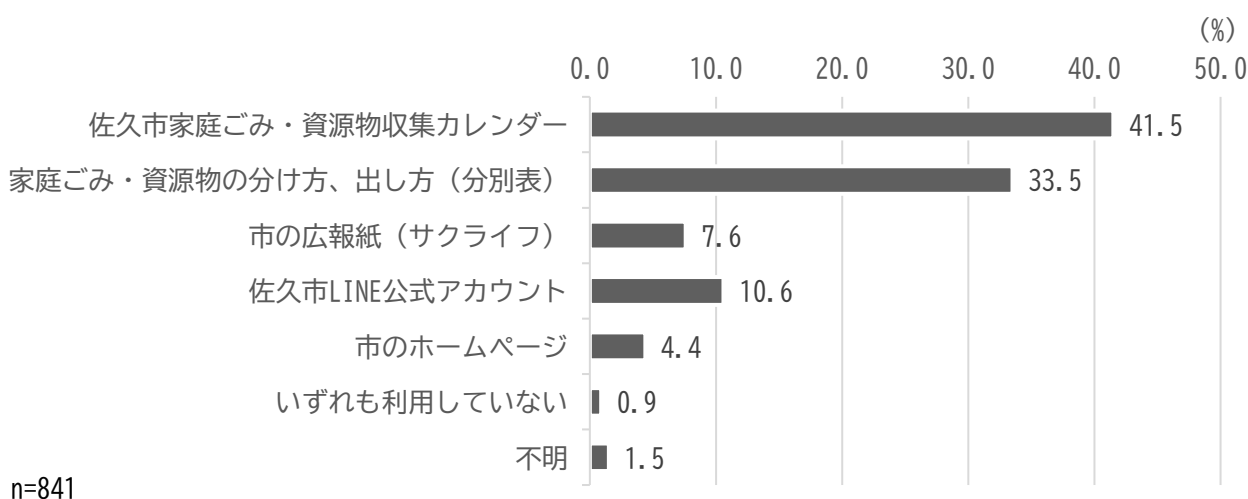
- ・佐久市が市政情報を発信していることを「知っている利用している」と回答した方が 33.2%いる一方で、「知らない」と回答した方が 34.4%います。
- ・「知っているが利用していない」と回答した方は、28.2%です。

(参考) 年齢とのクロス【設問「6-④」×設問「1-①」】

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	不明
知っている利用している	30.8%	45.0%	50.6%	52.9%	42.2%	33.3%	21.0%	13.6%	0.0%
知っているが利用していない	23.1%	22.5%	22.1%	16.3%	27.5%	36.4%	32.9%	27.2%	25.0%
知らない	43.6%	32.5%	26.0%	28.8%	29.4%	28.4%	38.1%	50.5%	50.0%
不明	2.6%	0.0%	1.3%	1.9%	1.0%	1.9%	8.1%	8.7%	25.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

- ・「知っている利用している」は、「10代」と「60代」以上で低くなっています。
- ・「10代」は「知らない」が高く、「60代」以上は「知っているが利用していない」が高くなっています。

- 6-⑤ 佐久市では、ごみの出し方や市の取組などについて、様々な方法で情報を提供しています。
 あなたが日頃ごみの出し方や市の取組を知るうえで利用しているものをお答えください。
 (〇は、いくつでも可)



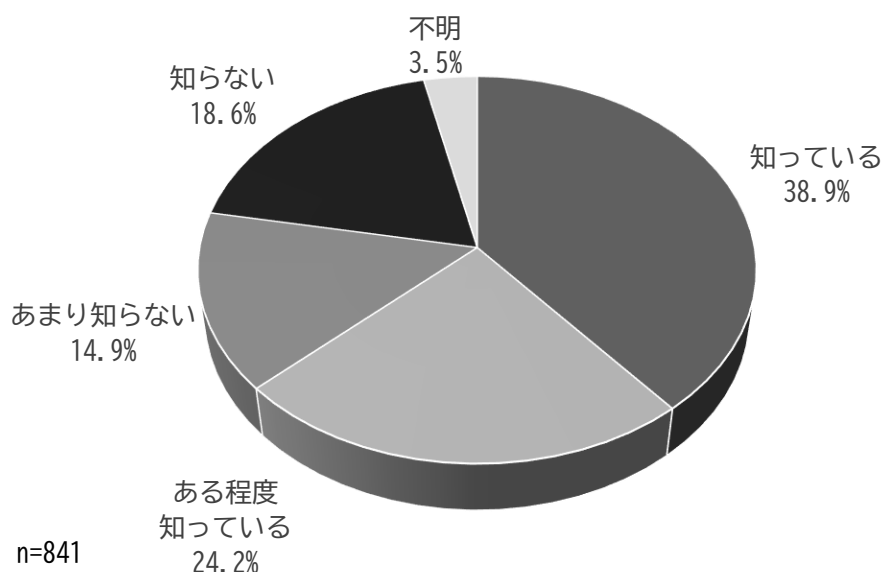
- ・ごみの出し方や市の取組などについて、41.5%の方が「佐久市家庭ごみ・資源物収集カレンダー」から、33.5%の方が「家庭ごみ・資源物の分け方、出し方（分別表）」から情報を入手しています。
- ・「佐久市 LINE 公式アカウント」「市の広報紙（サクラライフ）」「市のホームページ」からの情報入手はそれぞれ、10.6%、7.6%、4.4%にとどまっています。「佐久市 LINE 公式アカウント」に関しては、設問 6-④で「知っていて利用している」が 33.2%であり、「佐久市 LINE 公式アカウント」が市の取組やごみの出し方などの情報を得る手段としてはまだ普及していません。

(参考) 年齢とのクロス【設問「6-⑤」×設問「1-①」】

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	不明
佐久市家庭ごみ・資源物収集カレンダー	42.0%	38.6%	37.1%	39.7%	43.8%	41.5%	41.8%	45.0%	40.0%
家庭ごみ・資源物の分け方、出し方（分別表）	24.6%	31.3%	32.0%	30.1%	32.4%	35.9%	35.2%	35.6%	40.0%
市の広報紙（サクラライフ）	2.9%	6.0%	4.0%	6.3%	4.6%	7.3%	11.2%	11.4%	0.0%
佐久市 LINE 公式アカウント	10.1%	15.7%	17.7%	17.6%	13.2%	10.1%	5.7%	3.5%	0.0%
市のホームページ	8.7%	8.4%	8.0%	5.0%	5.5%	3.4%	3.0%	0.0%	20.0%
いずれも利用していない	10.1%	0.0%	0.6%	0.4%	0.5%	0.6%	0.5%	1.5%	0.0%
不明	1.4%	0.0%	0.6%	0.8%	0.0%	1.4%	2.7%	3.0%	0.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

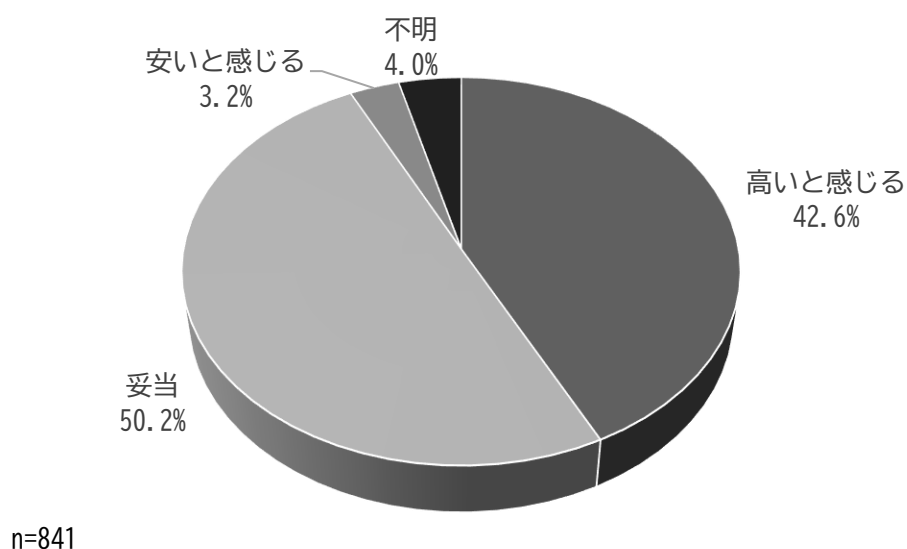
- ・年代による情報入手先の順位に大きな違いはなく、特に「佐久市家庭ごみ・資源物収集カレンダー」「家庭ごみ・資源物の分け方、出し方（分別表）」については、どの年代も高くなっています。
- ・「佐久市 LINE 公式アカウント」については、「20代」～「40代」で「市のホームページ」については、「10代」～「30代」で、高くなっています。

6-⑥ 長野県内の多くの市ではごみ袋（可燃ごみ、埋立ごみ）の製造販売コストに加え、ごみ処理手数料が上乗せされ、ごみ袋が販売されていることを知っていますか。（○は、1つのみ）



・「あまり知らない」が14.9%、「知らない」が18.6%となっています。

6-⑦ ごみ処理手数料に関して、長野県内の他市の平均は40リットル袋[可燃ごみ袋（大）程度]1枚当たり46円程度（令和4年現在）となっており、これに袋自体のコストが加算されて販売されています。佐久市ではごみの減量化が進まず、ごみ処理経費が減らないことから、家庭系ごみのごみ処理手数料（有料化）の導入を予定していますが、46円の手数料に対して、どのように感じますか。（○は、1つのみ）



・46円の手数料を「妥当」と回答した方が50.2%いる一方で、「高いと感じる」と回答した方が42.6%います。

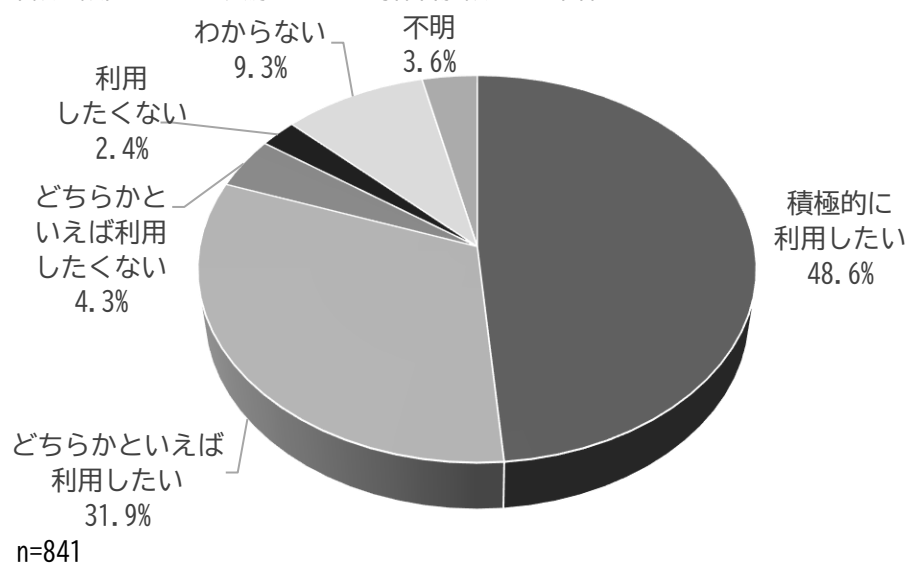
(参考) 年齢とのクロス【設問「6-⑦」×設問「1-①」】

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	不明
高いと感じる	48.7%	35.0%	54.5%	47.1%	44.1%	46.9%	39.0%	29.1%	25.0%
妥当	46.2%	65.0%	42.9%	48.1%	51.0%	45.1%	50.0%	61.2%	50.0%
安いと感じる	2.6%	0.0%	1.3%	2.9%	2.9%	5.6%	2.9%	3.9%	0.0%
不明	2.6%	0.0%	1.3%	1.9%	2.0%	2.5%	8.1%	5.8%	25.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

・「高いと感じる」は、「30代」が54.5%と最も高く、一方、「20代」「70代」「80代以上」が低くなっています。

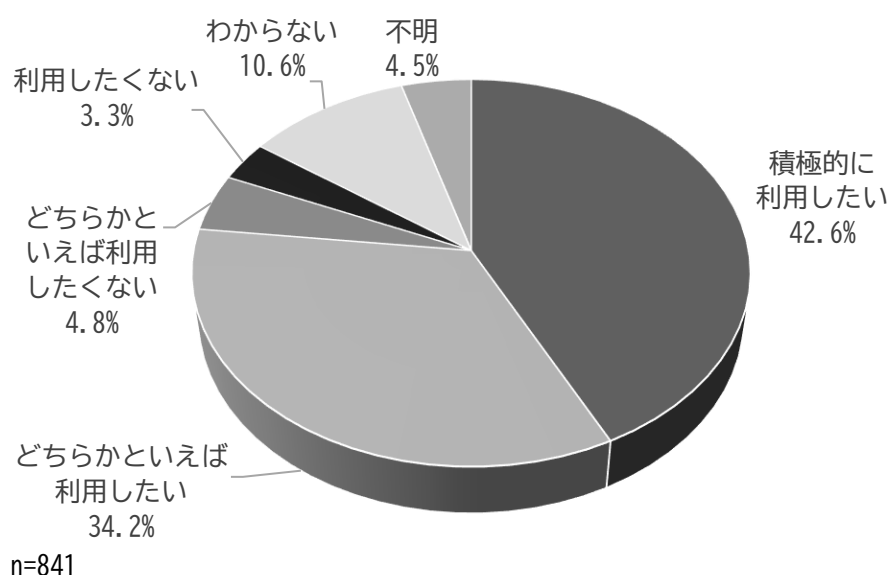
6-⑧ 佐久市では、雑びんを色別（「無色透明のびん」「茶色のびん」「その他の色のびん」）に指定袋に入れて、月に1回決められた日にごみステーションへ出すことになっています。もし雑びんの拠点回収^注を無料で開始したら利用したいですか。（○は、1つのみ）

注）常設で設置される、資源ごみの一時保管施設または回収ボックスなどです。



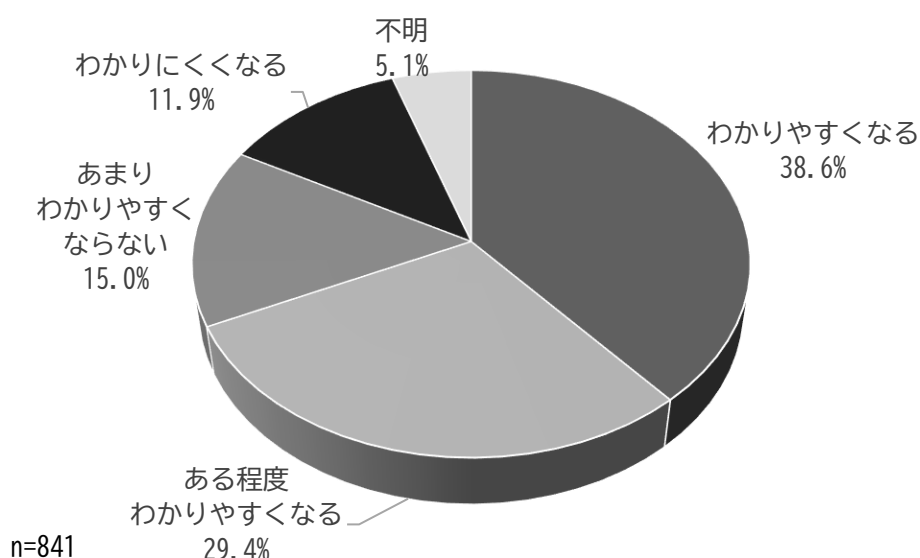
・雑びんの拠点回収を「積極的に利用したい」と回答した方が48.6%、「どちらかといえば利用したい」と回答した方が31.9%にのぼり、約8割の方が拠点回収の利用を期待しています。

6-⑨ 佐久市では、金属類を「スチール（鉄類）」と「アルミ」に分けて指定袋に入れて、月に1回決められた日にごみステーションへ出すことになっています。もし金属類のうち、缶類の拠点回収を無料で開始したら利用したいですか。（○は、1つのみ）



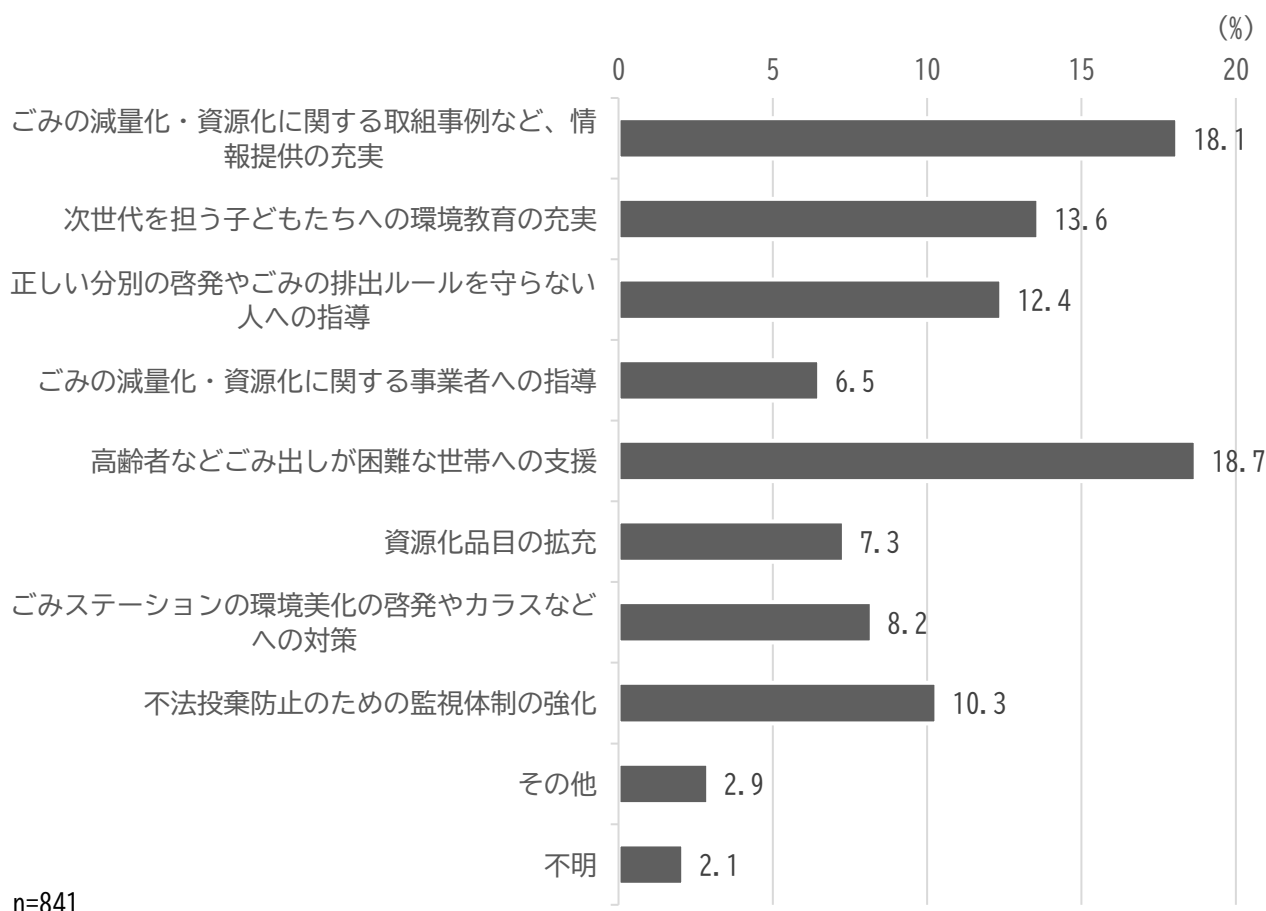
・缶類の拠点回収を「積極的に利用したい」と回答した方が 42.6%、「どちらかといえば利用したい」と回答した方が 34.2%にのぼり、約 8 割の方が拠点回収の利用を期待しています。

6-⑩ 佐久市では、容器包装プラスチックの収集を行っています。令和4年4月1日から「プラスチック資源循環法」が施行され、さらに製品プラスチックについても、収集して資源化することが求められています。製品プラスチックの資源化を推進するため、容器包装プラスチックと製品プラスチックを同じ指定袋に入れて出せるようにした場合、ごみの分別はわかりやすくなると思いますか。（○は、1つのみ）



・容器包装プラスチックと製品プラスチックを同じ指定袋に入れて出せるようにした場合に、「わかりやすくなる」と回答した方が 38.6%、「ある程度わかりやすくなる」と回答した方が 29.4%います。

6-⑪ 今後、ごみの分別やごみの減量化・資源化などを進めるにあたり、あなたが市に重点的に取り組んでほしいと思うことは何ですか。(〇は、いくつでも可)



【その他の回答例^{注)}】

- ・アパート等の集合住宅にお住まいの方への分別の周知を徹底する。
- ・わかりやすく、取り組みやすい分別を検討する。
- ・分別のルールを緩くし、項目を減らす。
- ・市の広報紙にあった不要品を必要な人にゆずるコーナーを再開する。
- ・びんや缶、ペットボトルなどの回収拠点を設置する。
- ・剪定枝を直接搬入できるようにする。
- ・ごみ袋への記名をやめる。

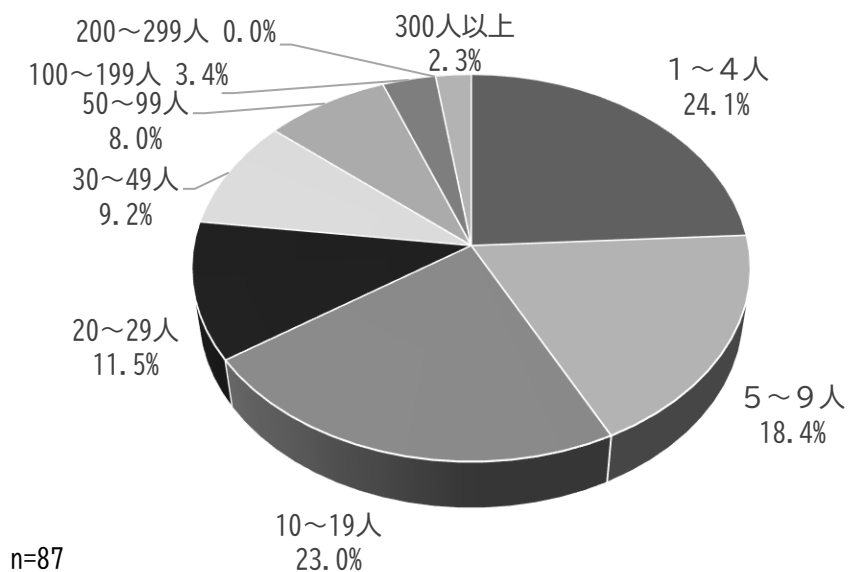
注) 主なその他の回答は、要約したものです。原文については、すべて資料編に記載しています。

・「高齢者などごみ出しが困難な世帯への支援」が 18.7%と最も高く、次いで「ごみの減量化・資源化に関する取組事例など、情報提供の充実」が 18.1%、「次世代を担う子どもたちへの環境教育の充実」が 13.6%と続いています。

3. 事業系ごみに関する事業所アンケート結果

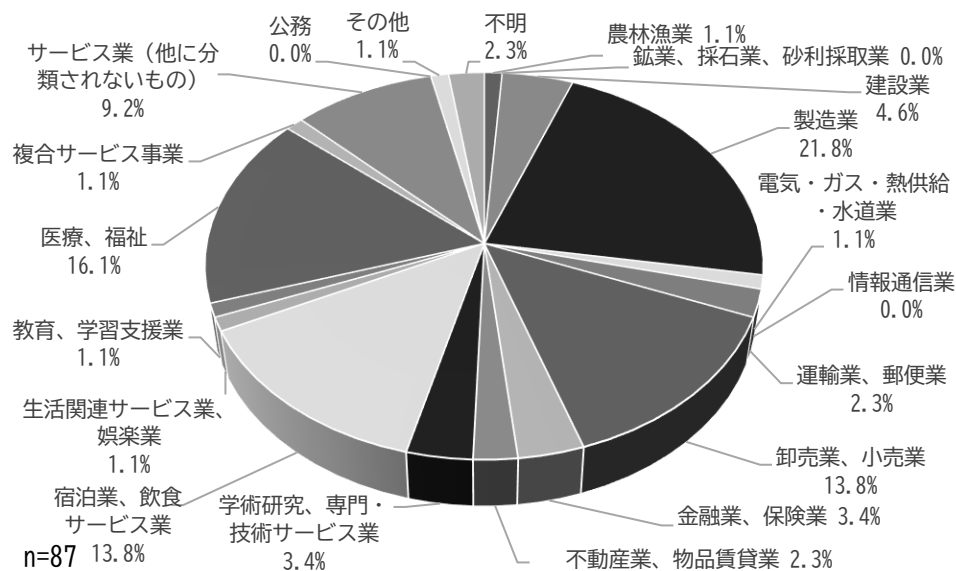
(1) 属性

1-① 従業員数 (〇は、1つのみ)



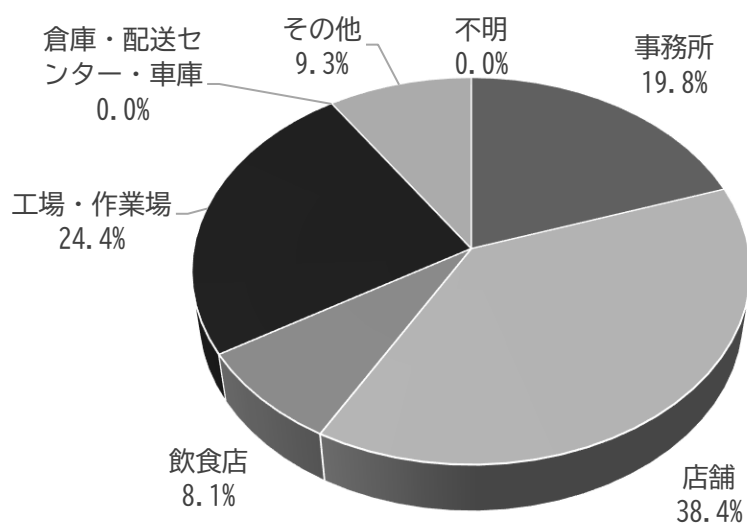
・「1～4人」が24.1%と最も高く、次いで「10～19人」が23.0%、「5～9人」が18.4%と続いています。

1-② 業種 (〇は、1つのみ)



・「製造業」が21.8%と最も高く、次いで「医療、福祉」が16.1%、「卸売業、小売業」と「宿泊業、飲食サービス業」が13.8%と続いています。

1-③ 事業所形態（○は、1つのみ）



n=87

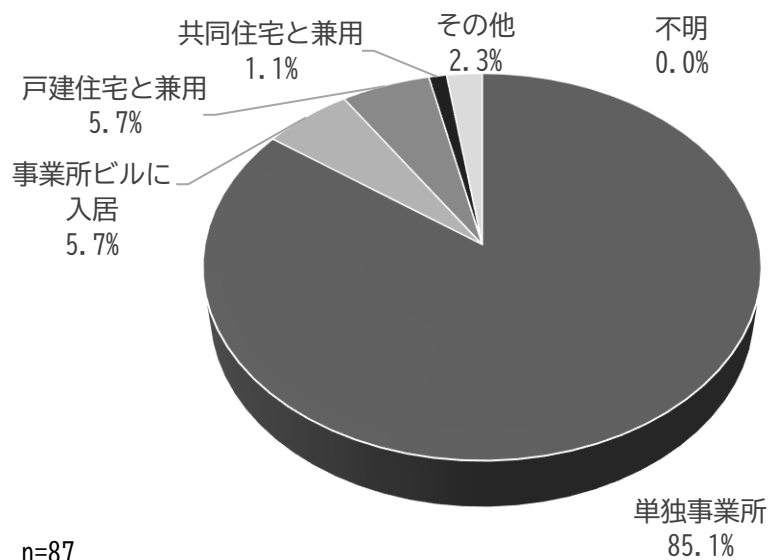
【その他の回答例^{注)}】

- ・病院、診療所、クリニック
- ・介護施設

注) 他のその他回答については、すべて資料編に記載しています。

・「店舗」が 38.4%と最も高く、次いで「工場・作業場」が 24.4%、「事務所」が 19.8%と続いています。

1-④ 建物形態（○は、1つのみ）



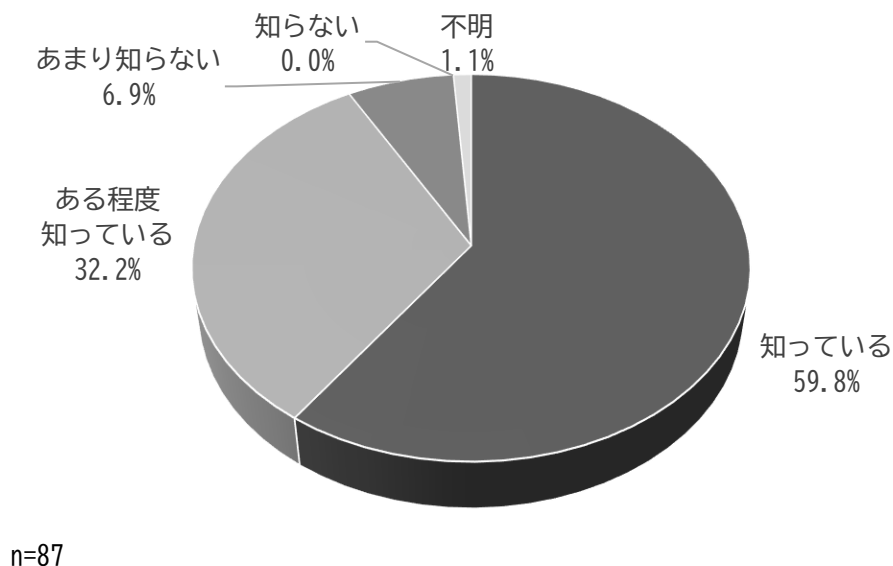
n=87

注) その他の回答については、すべて資料編に記載しています。

・建物形態は、「単独事業所」が 85.1%を占め、同率で「事業所ビルに入居」と「戸建住宅と兼用」が 5.7%と続いています。

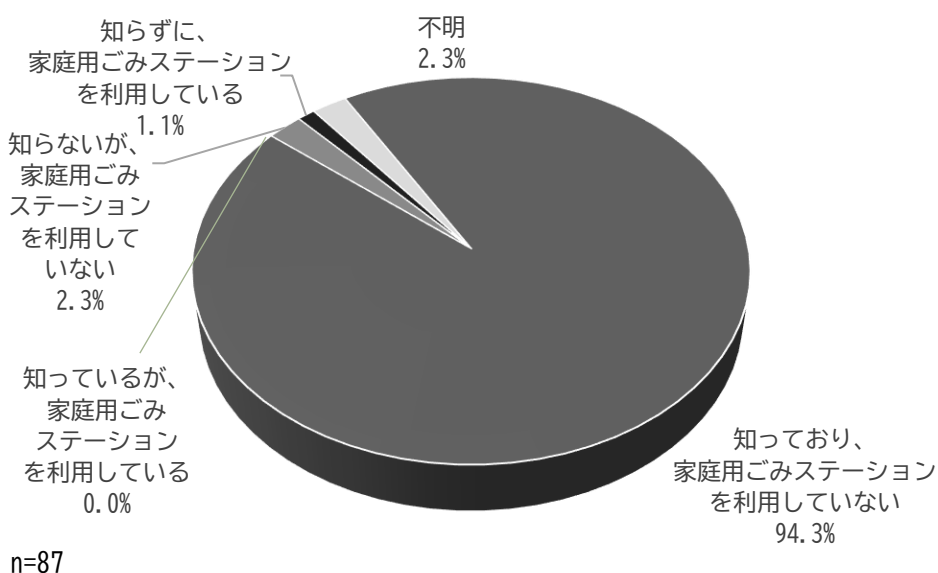
(2) 事業所から排出されるごみの処理や資源化の状況について

2-① 事業所から排出されるごみは事業系一般廃棄物と産業廃棄物に分類され、それぞれ処理方法や処理先が異なります。事業系一般廃棄物と産業廃棄物の区別の違いについて知っていますか。(〇は、1つのみ)



・事業系一般廃棄物と産業廃棄物の区分について、「知っている」と「ある程度知っている」の合計が92.0%に達しており、事業者の理解が進んでいます。

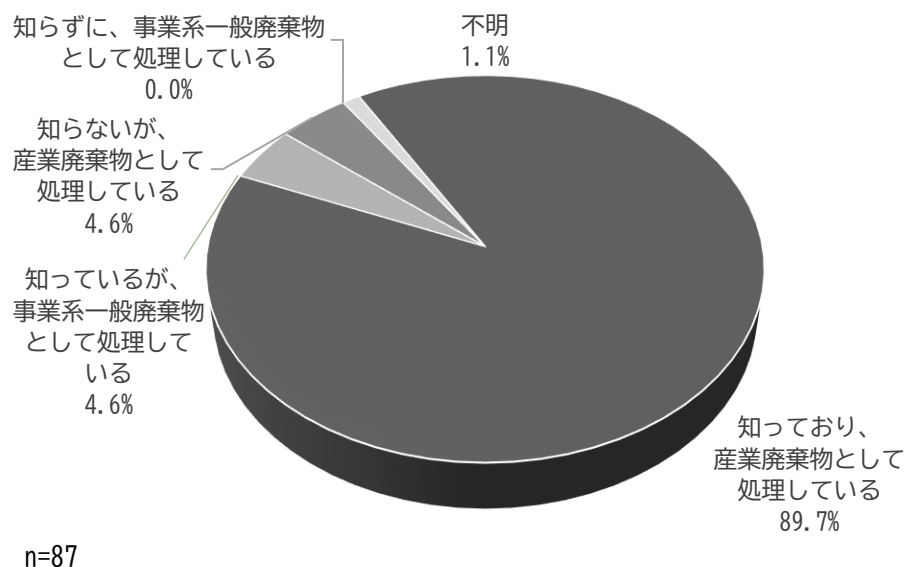
2-② ごみ排出量が多いか少ないかに関係なく、事業所から排出されるごみは家庭用ごみステーションには出せず、事業者が自らの責任で処理する必要があることを知っていますか。(〇は、1つのみ)



・「知っており、家庭用ごみステーションを利用していない」が94.3%^{注)}を占めています。

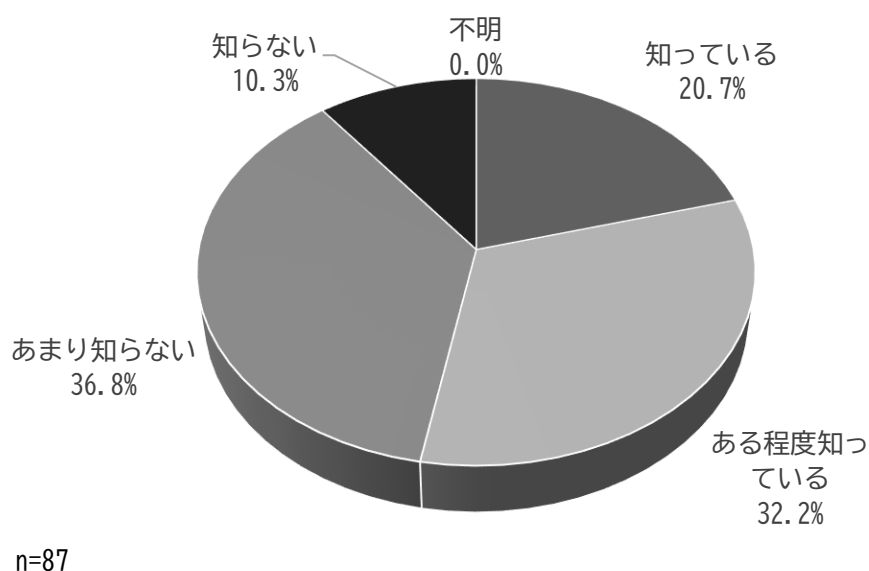
注) 事業系ごみの袋を購入している事業所を対象に事業所を抽出してアンケートを実施しています。事業系ごみの袋を購入していない事業所がアンケートの対象から外れているため、家庭用ごみステーションを利用していない事業者の割合は、実態より高めとなっている可能性があります。

2-③ 事業活動に伴って排出されるプラスチックごみは、産業廃棄物として処理する必要があることを知っていますか。(〇は、1つのみ)



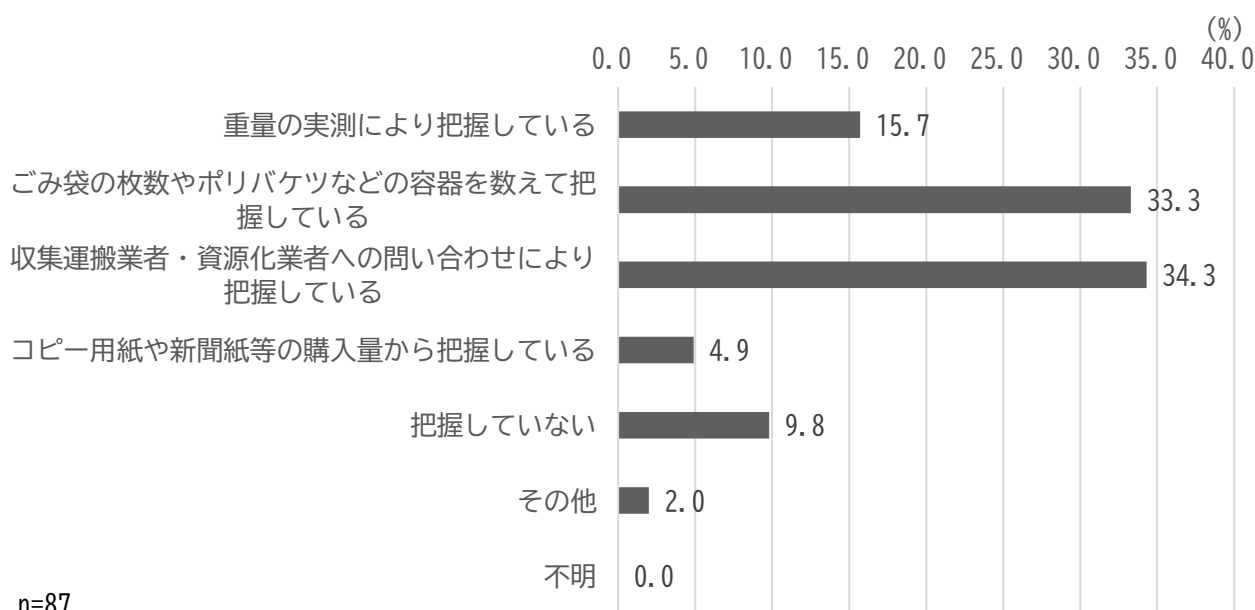
- ・事業活動に伴って排出されるプラスチックごみは産業廃棄物として処理する必要があることについて、「知っている、産業廃棄物として処理している」が 89.7%に達しており、事業者の理解が進んでいます。
- ・「知っているが、事業系一般廃棄物として処理している」が 4.6%となっています。

2-④ 佐久平クリーンセンターに持ち込まれる事業系可燃ごみには、リサイクル可能な紙類が多く含まれていることを知っていますか。(〇は、1つのみ)



- ・「あまり知らない」と「知らない」の合計が半分近くを占めています。

2-⑤ 貴事業所では、ごみの排出量をどのように把握していますか。(〇は、いくつでも可)



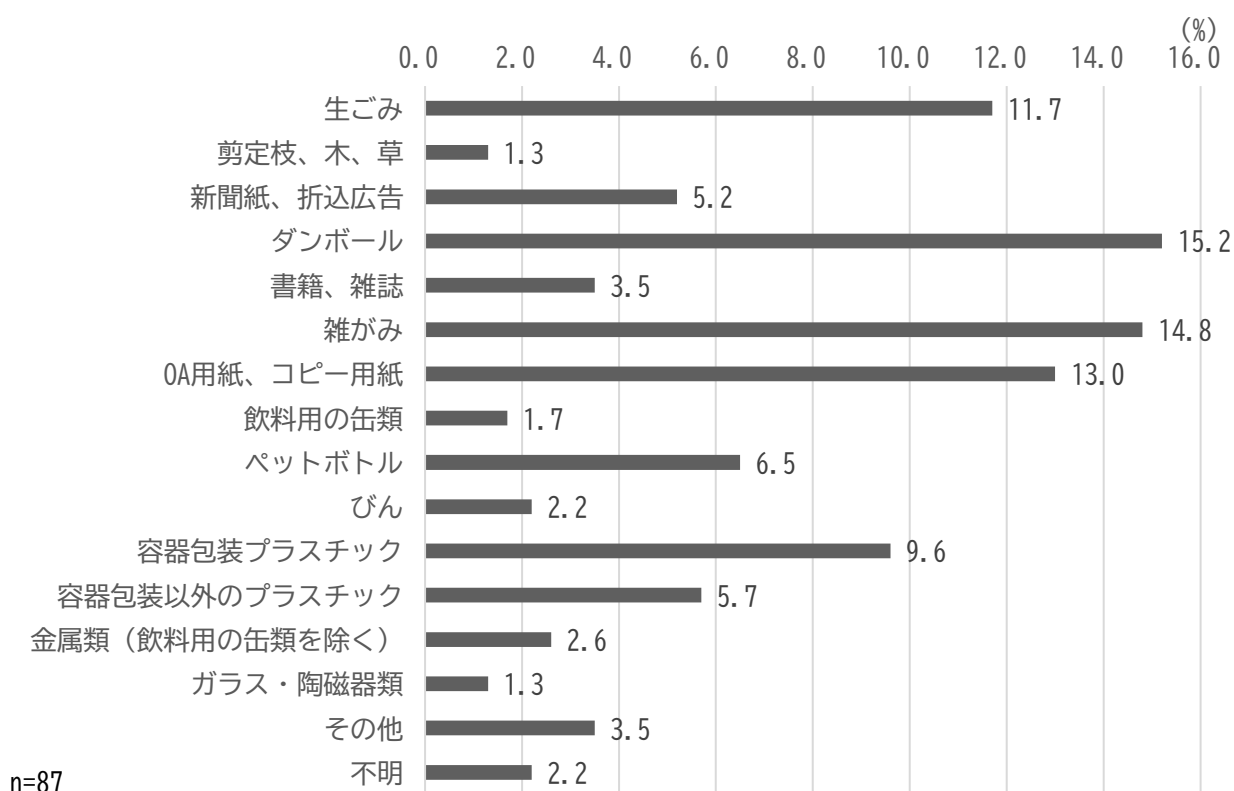
【その他の回答例^{注)}】

・委託業者からの請求書やマニフェストから把握している。

注) 主なその他の回答は、要約したものです。原文については、すべて資料編に記載しています。

- ・「把握していない」は9.8%にとどまり、約9割の事業所がごみ排出量を把握しています。
- ・「収集運搬業者・資源化業者への問合せにより把握している」が34.3%、「ごみ袋の枚数やポリバケツなどの容器を数えて把握している」が33.3%とほぼ同率で、「重量の実測により把握している」は15.7%となっています。

2-⑥ 貴事業所で排出量が多いごみは何ですか。重量を把握していない場合は、推測で構いません。ただし、産業廃棄物処理業者に引き渡しているものは除きます。(〇は、いくつでも可)



【その他の回答例^{注)}】

・紙おむつ。

注) 他のその他回答については、すべて資料編に記載しています。

・「ダンボール」が15.2%、「雑がみ」が14.8%、「OA用紙、コピー用紙」が13.0%と紙類の排出が高くなっています。

2-⑦ 貴事業所でのごみと資源物の処理方法についてお答えください。処理方法が2種類以上ある場合、主な処理方法をお答えください。ただし、産業廃棄物処理業者に引き渡しているものは除きます。(○は、1つのみ)

	発生しない	一般廃棄物として業者へ処理を委託	佐久平クリーンセンターへ自ら搬入	自社で処理	家庭用のごみステーションへ排出	民間が設置している無料回収拠点を利用	有価で業者へ売却
生ごみ	21.8	49.4	6.9	4.6	0.0	0.0	1.1
剪定枝、木、草	23.0	36.8	2.3	11.5	0.0	0.0	1.1
新聞紙、折込広告	16.1	49.4	1.1	0.0	3.4	1.1	5.7
ダンボール	2.3	62.1	0.0	1.1	3.4	2.3	5.7
書籍、雑誌	9.2	50.6	0.0	0.0	2.3	3.4	5.7
雑がみ	2.3	63.2	8.0	0.0	1.1	1.1	2.3
OA用紙、コピー用紙	2.3	51.7	9.2	2.3	0.0	0.0	5.7
飲料用の缶類	13.8	40.2	0.0	1.1	2.3	2.3	1.1
ペットボトル	12.6	42.5	0.0	0.0	2.3	4.6	0.0
びん	14.9	44.8	0.0	1.1	2.3	2.3	2.3
容器包装プラスチック	5.7	60.9	0.0	0.0	2.3	0.0	3.4
容器包装以外のプラスチック	9.2	56.3	1.1	0.0	2.3	0.0	4.6
金属類(飲料用の缶類を除く)	13.8	36.8	0.0	1.1	1.1	0.0	14.9
ガラス・陶磁器類	18.4	43.7	0.0	1.1	2.3	0.0	4.6

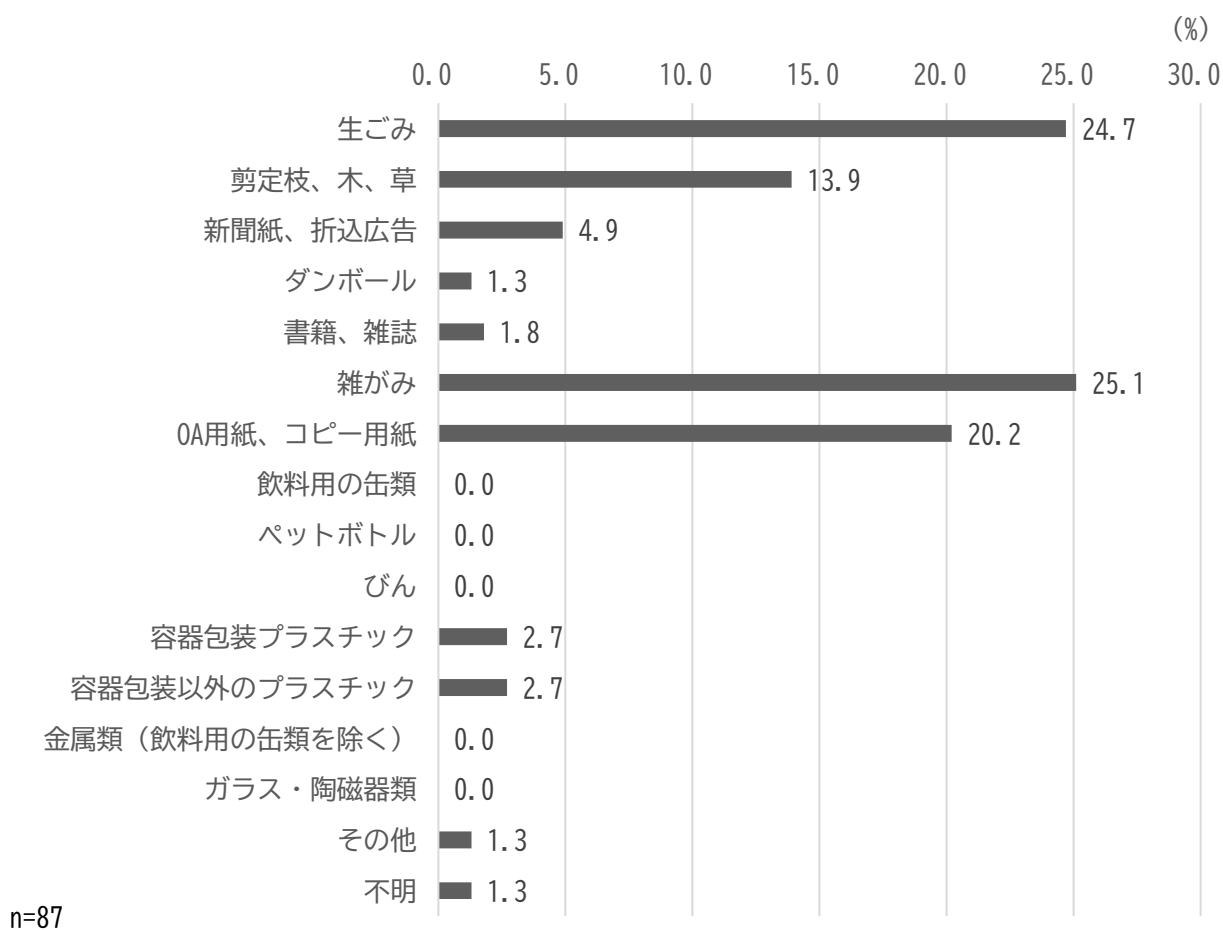
	無償で業者が引き取り、譲渡	納入業者へ引き渡し	その他 ^{注2)}	わからない	不明	合計
生ごみ	0.0	4.6	3.4	0.0	8.0	99.8
剪定枝、木、草	0.0	4.6	1.1	1.1	18.4	99.9
新聞紙、折込広告	4.6	5.7	0.0	0.0	12.6	99.7
ダンボール	6.9	5.7	2.3	0.0	8.0	99.8
書籍、雑誌	5.7	4.6	2.3	0.0	16.1	99.9
雑がみ	3.4	3.4	2.3	0.0	12.6	99.7
OA用紙、コピー用紙	4.6	3.4	2.3	0.0	18.4	99.9
飲料用の缶類	5.7	13.8	2.3	0.0	17.2	99.8
ペットボトル	6.9	13.8	2.3	0.0	14.9	99.9
びん	2.3	9.2	4.6	0.0	16.1	99.9
容器包装プラスチック	1.1	5.7	5.7	0.0	14.9	99.7
容器包装以外のプラスチック	0.0	4.6	4.6	0.0	17.2	99.9
金属類(飲料用の缶類を除く)	2.3	3.4	6.9	2.3	17.2	99.8
ガラス・陶磁器類	1.1	4.6	6.9	1.1	16.1	99.9

注1) ごみの処理方法の割合が高い上位3つに網掛けを行い、濃い方から順に、1位、2位、3位となっています。

注2) その他の回答については、すべて資料編に記載しています。

・いずれの品目も「一般廃棄物として業者へ処理を委託」による処理が高くなっています。
・「雑がみ」は8.0%、「OA用紙、コピー用紙」は9.2%が、「佐久平クリーンセンターへ自ら搬入」し、処理されています。

2-⑧ 次の品目のうち、「可燃ごみ」として処理している品目をお答えください。(〇は、いくつでも可)



【その他の回答例^{注)}】

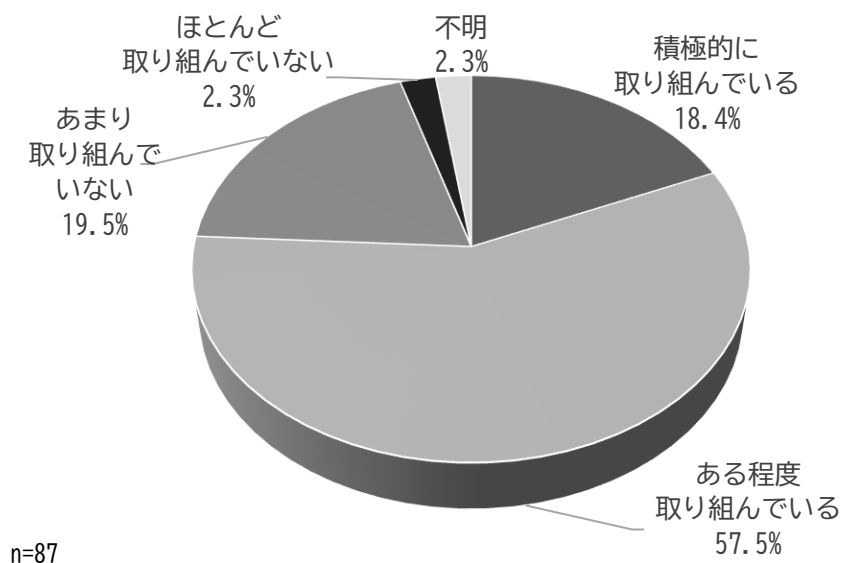
- ・紙おむつ。
- ・シュレッダーダスト。

注) 主なその他の回答は、要約したものです。原文については、すべて資料編に記載しています。

- ・「雑がみ」が 25.1%と最も高く、次いで「生ごみ」が 24.7%、「OA 用紙、コピー用紙」が 20.2%と続いています。
- ・資源化が可能な「雑がみ」や「OA 用紙、コピー用紙」が可燃ごみとして多く排出されています。

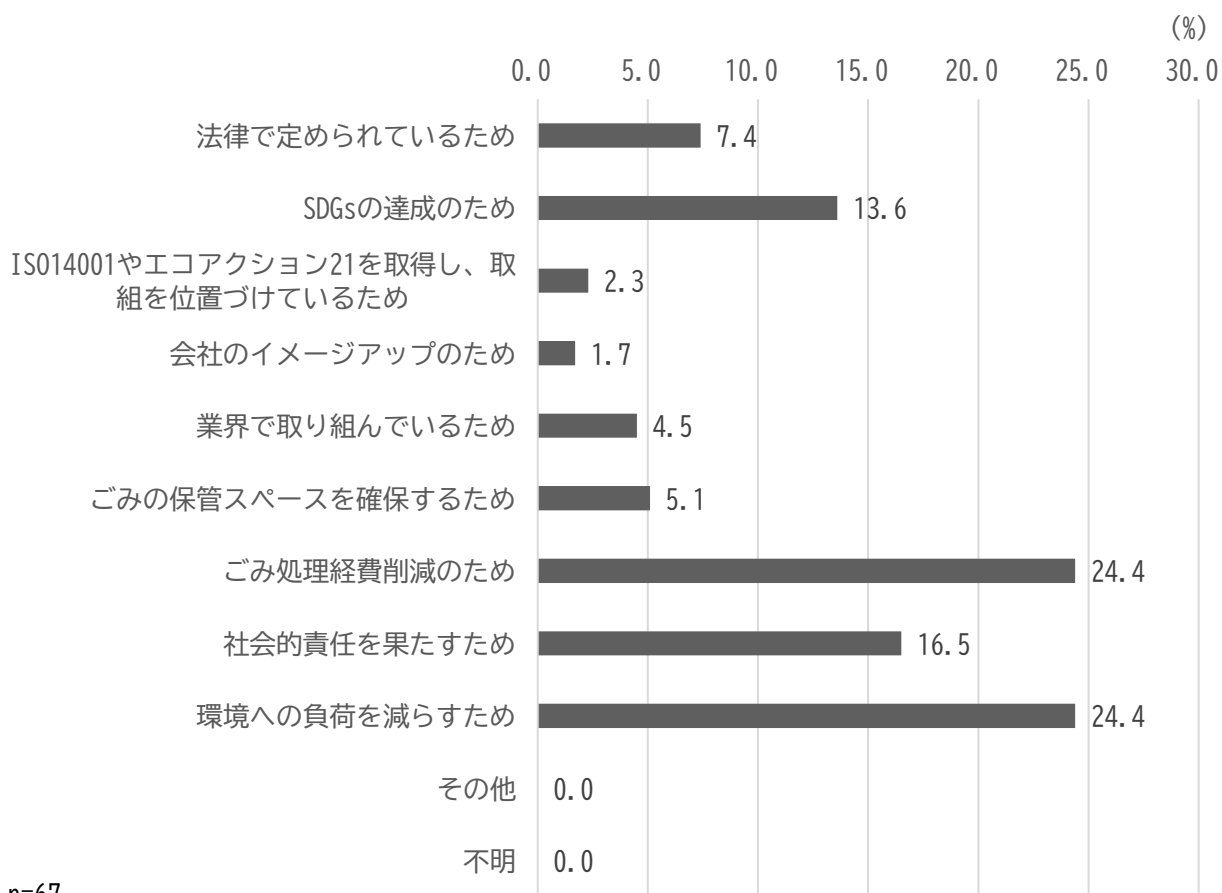
(3) 事業所における取組について

3-① 貴事業所では、ごみの減量化・資源化にどの程度取り組んでいますか。(○は、1つのみ)



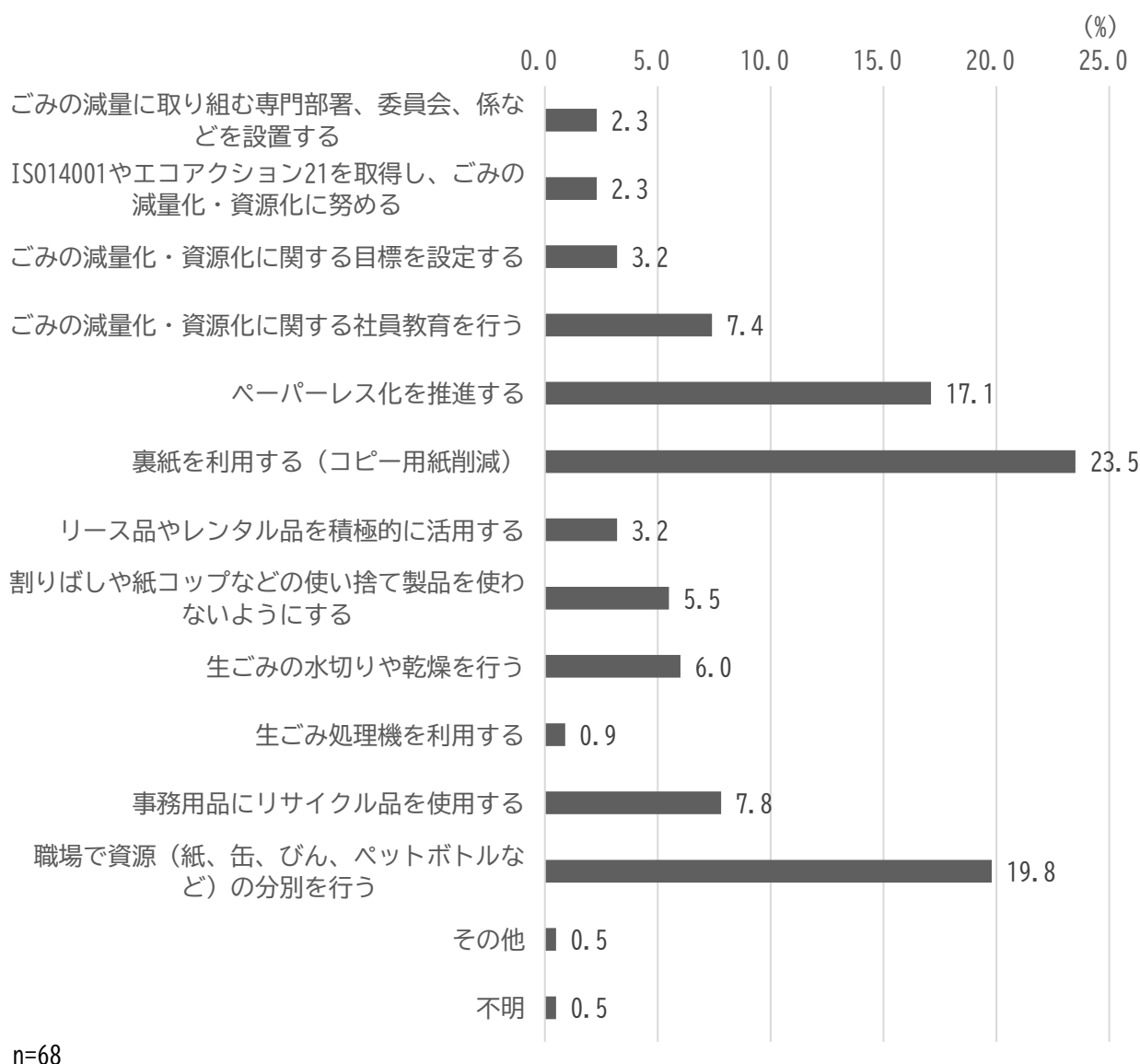
・「積極的に取り組んでいる」と「ある程度取り組んでいる」の合計が 75.9%を占めています。

3-② 3-① で「1. 積極的に取り組んでいる」または「2. ある程度取り組んでいる」を選んだ方にお聞きします。ごみの減量化・資源化に取り組む理由は何ですか。(○は、いくつでも可)



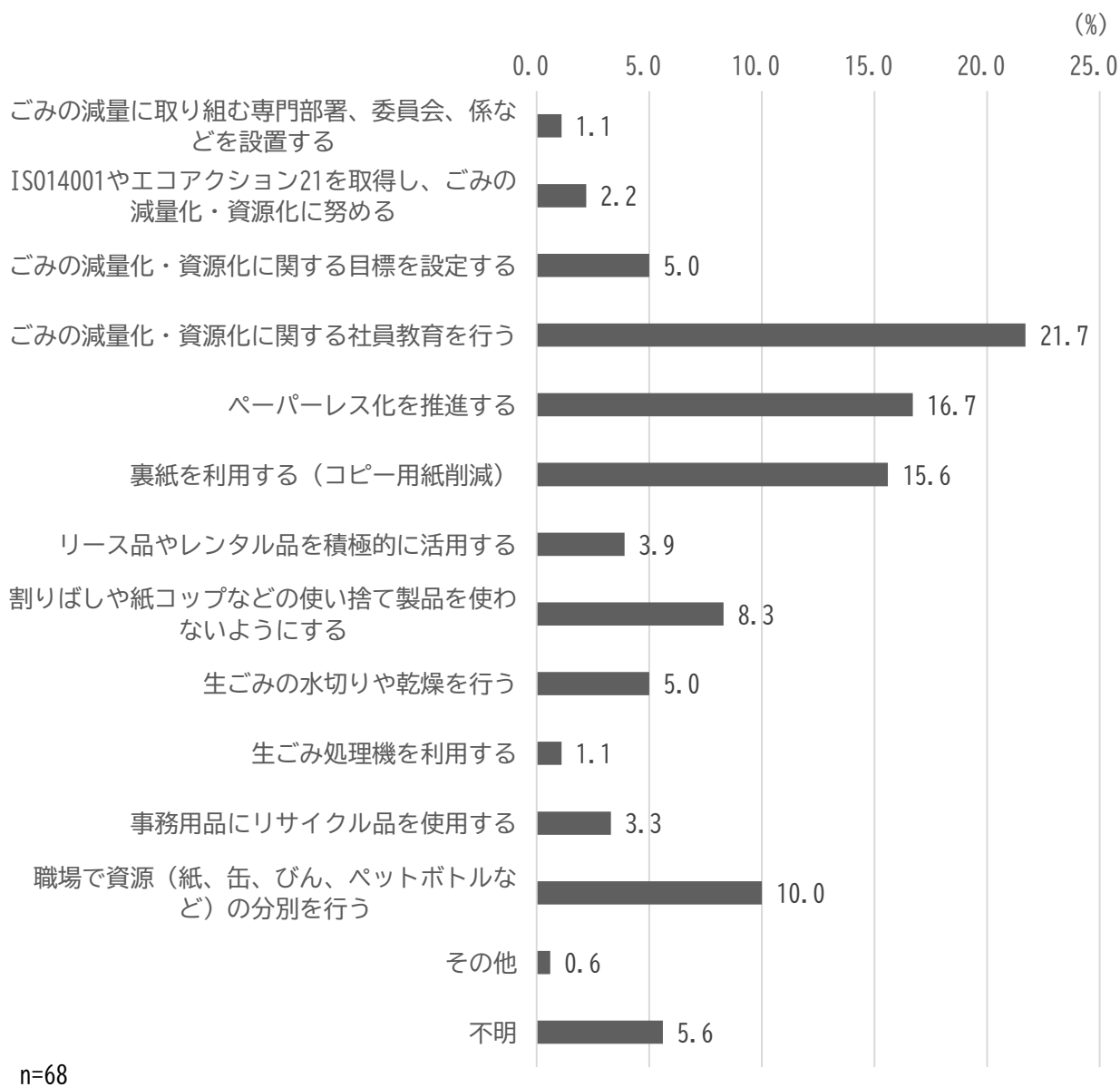
・「ごみ処理経費削減のため」と「環境への負荷を減らすため」が同率で 24.4%と最も高く、次いで「社会的責任を果たすため」が 16.5%と続いています。

3-③ 3-① で「1. 積極的に取り組んでいる」または「2. ある程度取り組んでいる」を選んだ方にお聞きします。貴事業所では、ごみの減量化・資源化に関して、どのような取組を行っていますか。(〇は、いくつでも可)



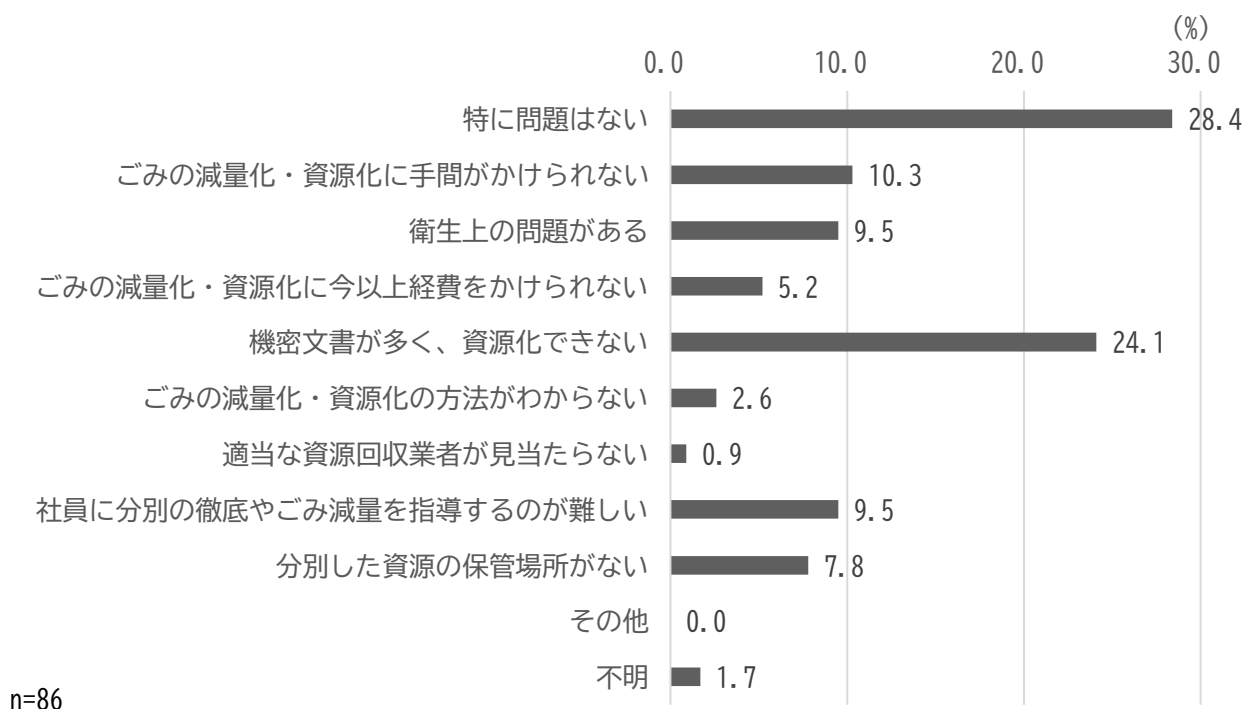
・「裏紙を利用する（コピー用紙削減）」が 23.5%と最も高く、次いで「職場で資源（紙、缶、びん、ペットボトルなど）の分別を行う」が 19.8%、「ペーパーレス化を推進する」が 17.1%と続いています。

3-④ 貴事業所で、現在はごみの減量化・資源化のために取組を実施していないが、今後ごみの減量化・資源化のために実施したいと考えている取組はありますか。(〇は、いくつでも可)



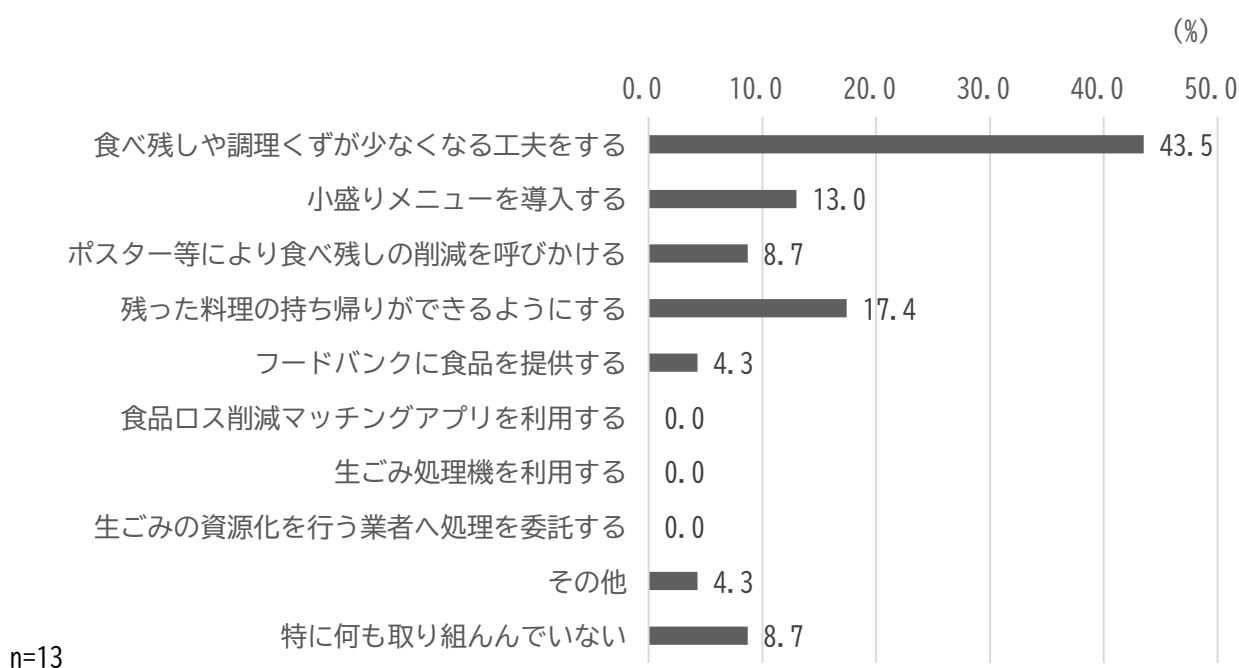
・「ごみの減量化・資源化に関する社員教育を行う」が 21.7%と最も高く、次いで「ペーパーレスを推進する」が 16.7%、「裏紙を利用する（コピー用紙削減）」が 15.6%と続いています。

3-⑤ 貴事業所で、ごみの減量化・資源化を進めて行くうえでの問題点は何ですか。(〇は、いくつでも可)



- ・「特に問題はない」が28.4%となっています。
- ・問題点については、「機密文書が多く、資源化できない」が24.1%と最も高くなっています。

3-⑥ 食品の販売または提供を行っている「宿泊業」または「飲食サービス業」の方におたずねします。生ごみの減量化・資源化のため、貴事業所で現在取り組んでいることはどのようなことですか。(〇は、いくつでも可)



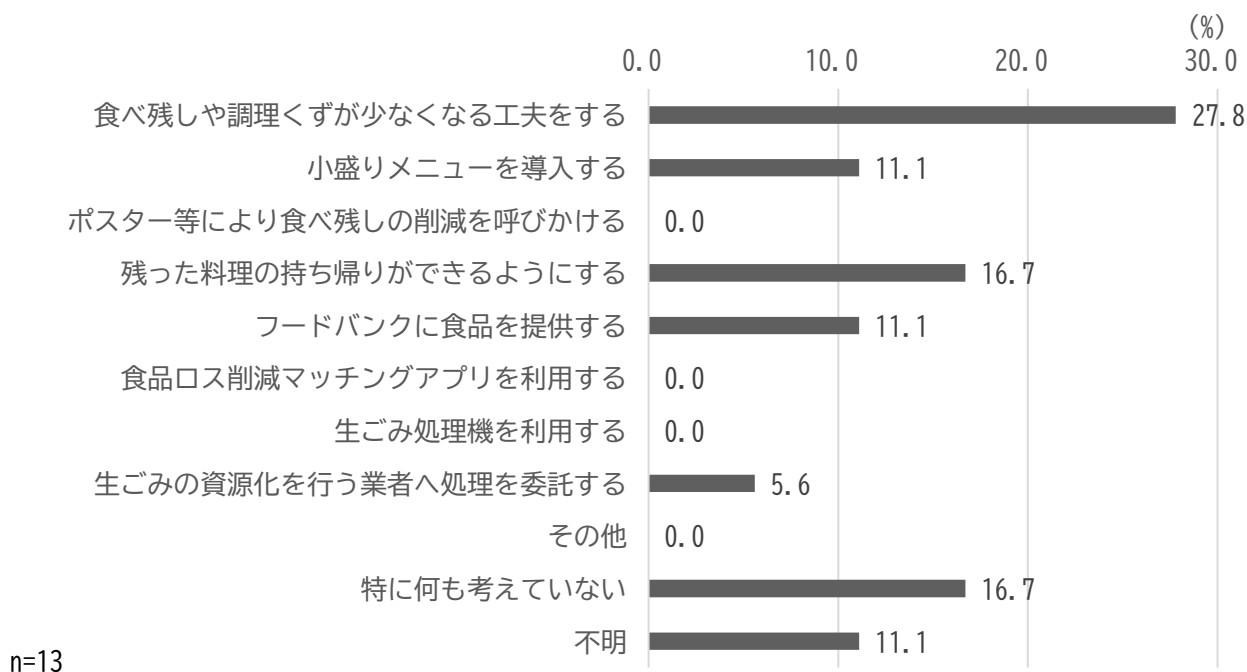
【その他の回答例^{注)}】

・生ごみを肥料として利用できないか試している。

注) 主なその他の回答は、要約したものです。原文については、すべて資料編に記載しています。

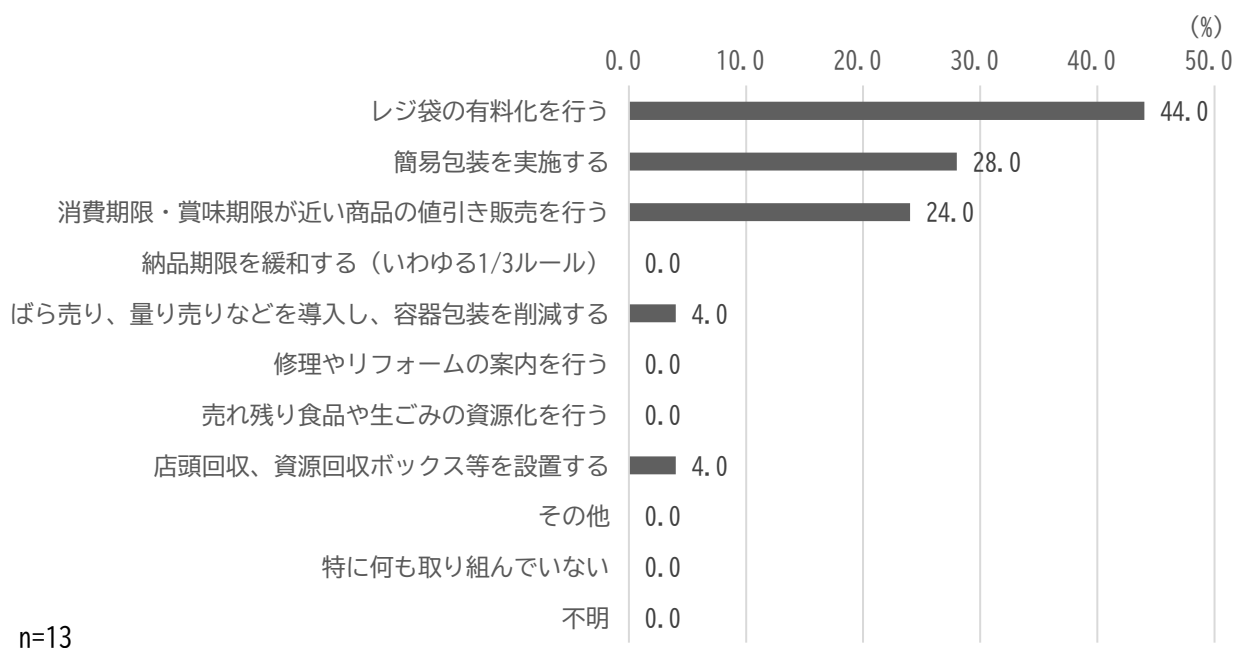
・「食べ残しや調理くずが少なくなる工夫をする」が 43.5%と最も高く、次いで「残った料理の持ち帰りができるようにする」が 17.4%、「小盛メニューを導入する」が 13.0%と続いています。

3-⑦ 食品の販売または提供を行っている「宿泊業」または「飲食サービス業」の方におたずねします。貴事業所で、現在は生ごみの減量化・資源化のために取組を実施していないが、今後生ごみの減量化・資源化のために実施したいと考えている取組はありますか。(〇は、いくつでも可)



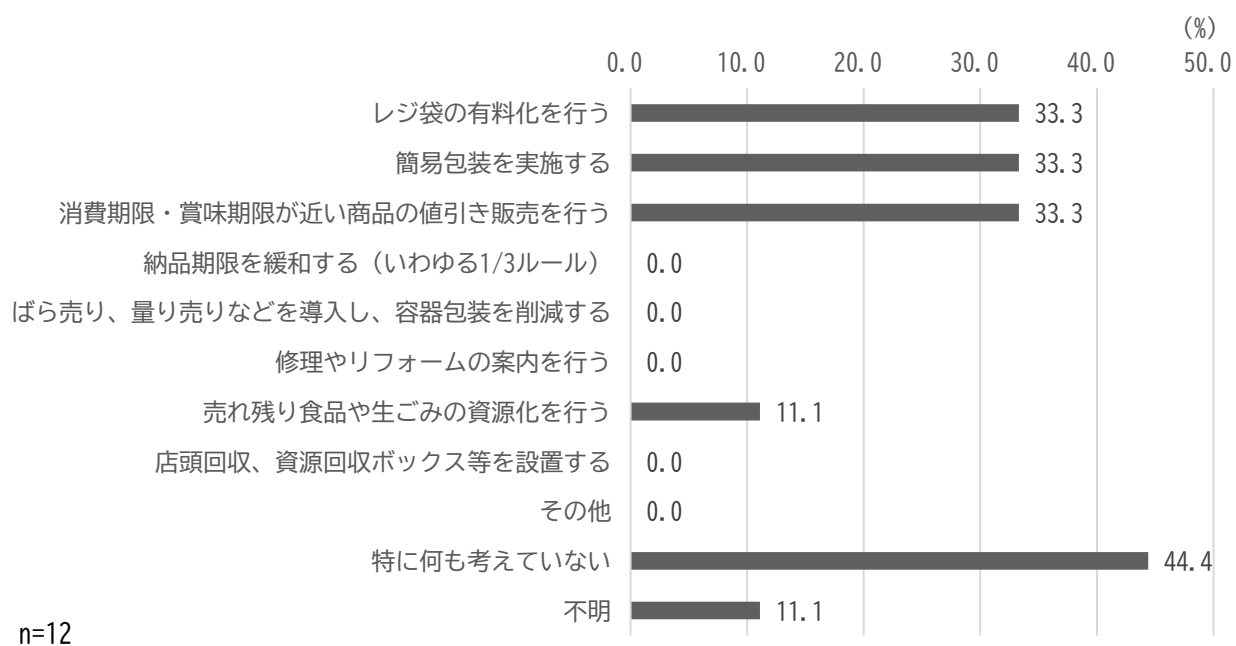
・「食べ残しや調理くずが少なくなる工夫をする」が 27.8%と最も高く、次いで「残った料理の持ち帰りができるようにする」と「特に何も考えていない」が同率で 16.7%と続いています。

3-⑧ 「小売業」の方におたずねします。ごみの減量化・資源化のため、貴事業所で現在取り組んでいることはどのようなことですか。(〇は、いくつでも可)



・「レジ袋の有料化を行う」が 44.0%と最も高く、次いで「簡易包装を実施する」が 28.0%、「消費期限・賞味期限が近い商品の値引き販売を行う」が 24.0%と続いています。

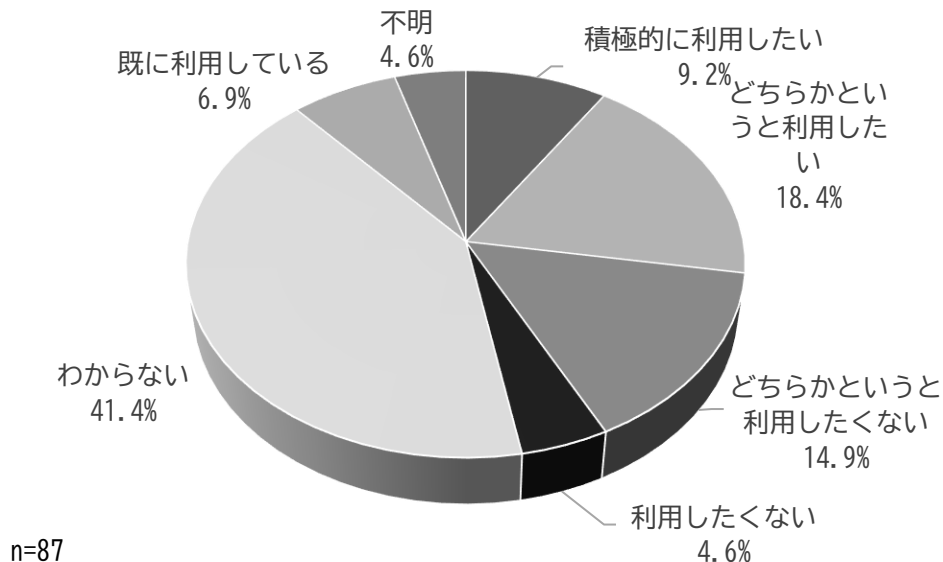
3-⑨ 「小売業」の方におたずねします。貴事業所で、現在は減量化・資源化のために取組を実施していないが、今後減量化・資源化のために実施したいと考えている取組はありますか。(〇は、いくつでも可)



・「特に何も考えていない」が 44.4%となっています。
・今後実施したい取り組みとしては、「レジ袋の有料化を行う」「簡易包装を実施する」「消費期限・賞味期限が近い商品の値引き販売を行う」がそれぞれ 33.3%となっています。

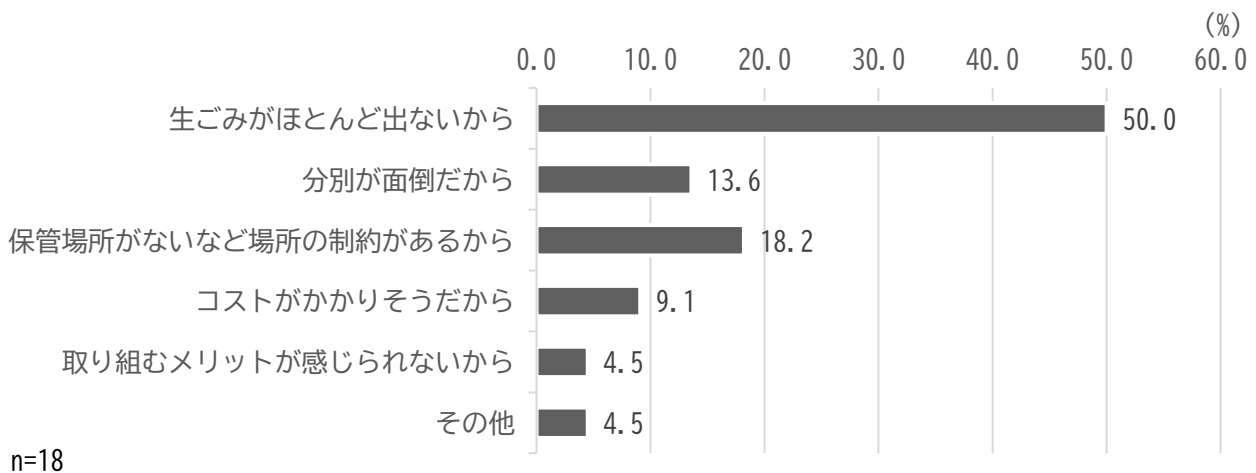
(4) 市の取組や市への要望について

4-① 佐久市では、臼田地区の家庭から排出される生ごみを堆肥化していますが、もし事業所から排出される生ごみを、佐久市が堆肥化するサービスが提供されるならば、貴事業所では利用したいですか。(〇は、1つのみ)



・「わからない」が41.4%を占め、「積極的に利用したい」と「どちらかというとうり利用したい」の合計は27.6%となっています。

4-② 4-①で「3. どちらかというとうり利用したくない」または「4. 利用したくない」を選んだ方にお聞きします。利用したくない理由は何ですか。(〇は、いくつでも可)



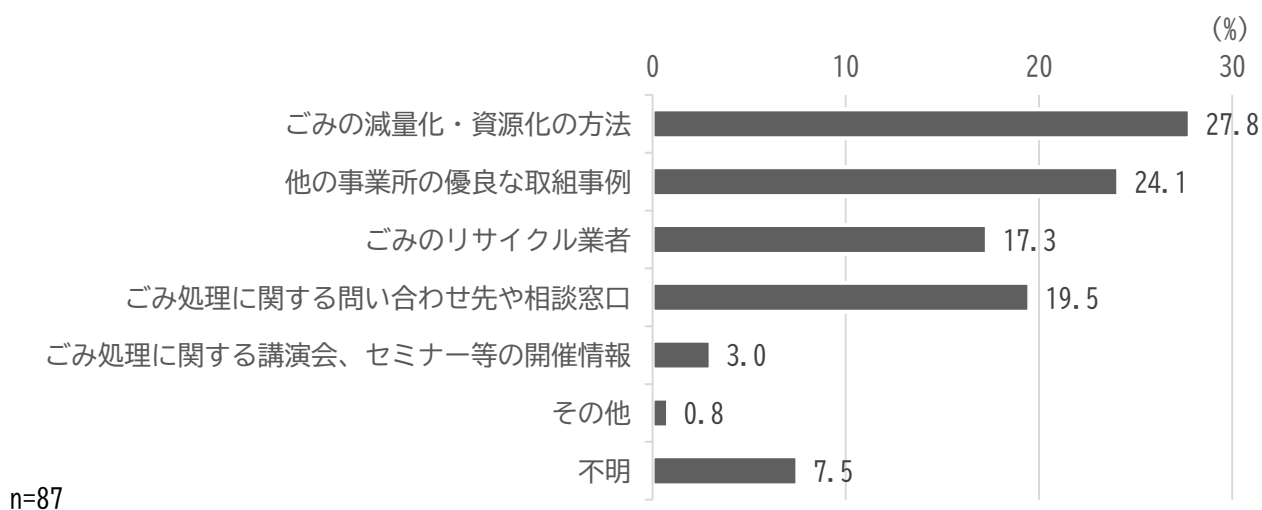
【その他の回答例^{注)}】

・生ごみの分別が実施されている臼田地区の住民に、生ごみの分別が大変だと聞いたから。

注) 主なその他の回答は、要約したものです。原文については、すべて資料編に記載しています。

・「生ごみがほとんど出ないから」が半数を占めています。
・「保管場所がないなど場所の制約があるから」が18.2%、「分別が面倒だから」が13.6%となっています。

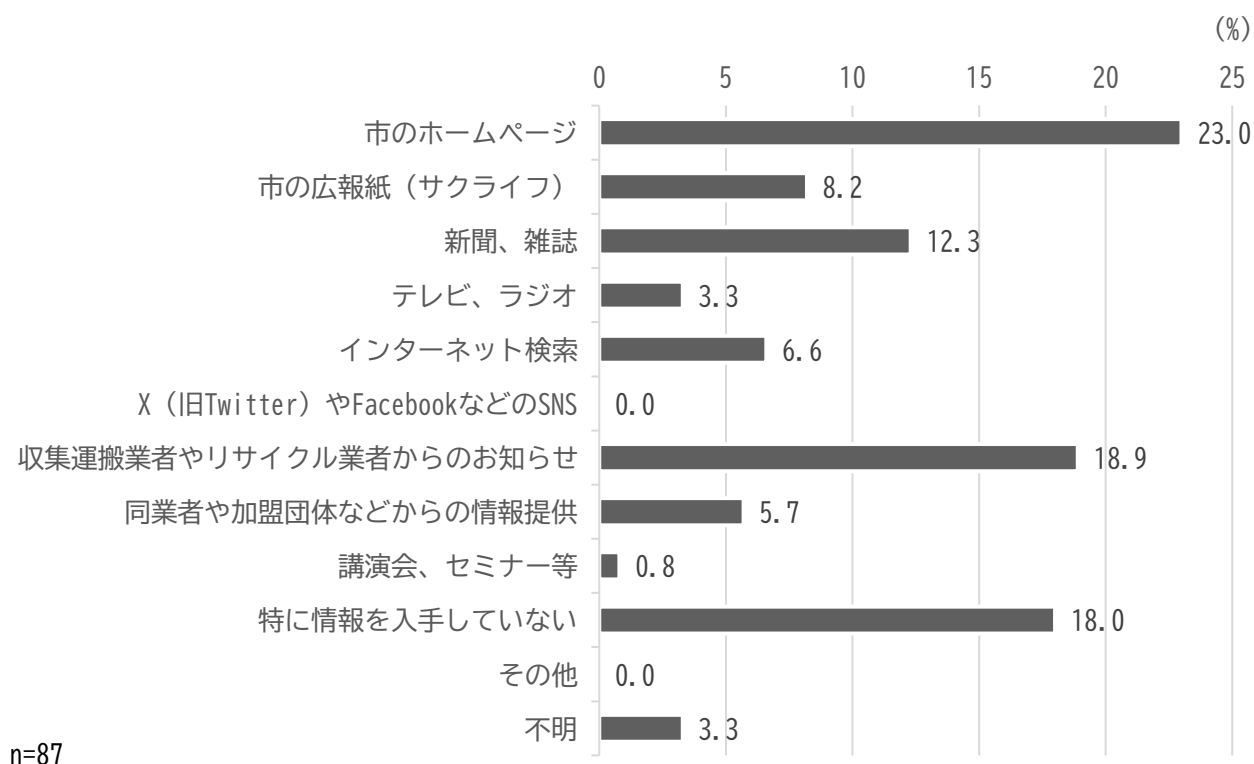
4-③ ごみの減量化・資源化に関して、どのような情報が知りたいですか。(〇は、いくつでも可)



注) その他の回答については、すべて資料編に記載しています。

・「ごみの減量化・資源化の方法」が 27.8%と最も高く、次いで「他の事業所の優良な取組事例」が 24.1%、「ごみ処理に関する問合せ先や相談窓口」が 19.5%と続いています。

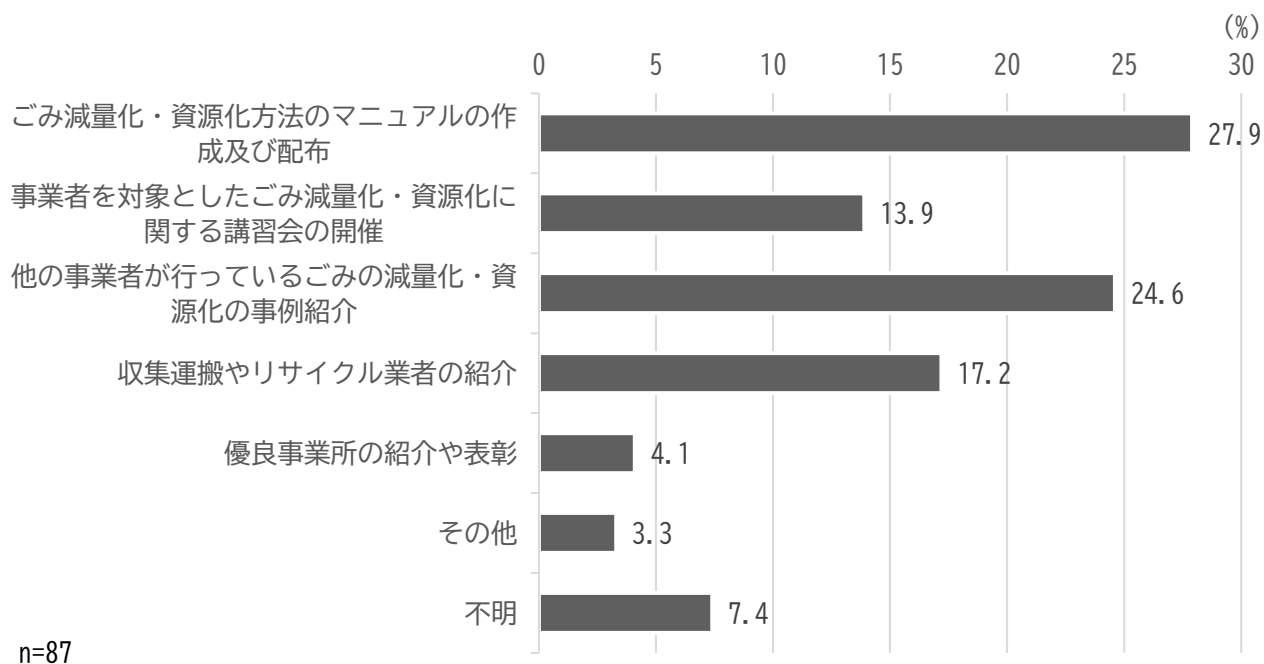
4-④ ごみの減量化・資源化に関する情報をどのように入手していますか。(〇は、いくつでも可)



・「市のホームページ」が 23.0%と最も高く、次いで「収集運搬業者やリサイクル業者からのお知らせ」が 18.9%となっています。

・「特に情報を入手していない」は、18.0%となっています。

4-⑤ ごみの減量化・資源化を推進するため、今後佐久市に何を期待しますか。(〇は、いくつでも可)



注) その他の回答については、すべて資料編に記載しています。

・「ごみ減量化・資源化方法のマニュアルの作成及び配布」が 27.9%と最も高く、次いで「他の事業者が行っているごみの減量化・資源化の事例紹介」が 24.6%、「収集運搬やリサイクル業者の紹介」が 17.2%と続いています。

資料編

1. その他回答

各設問のその他欄に記載された回答を（１）及び（２）に示します。

（１）市民アンケートのその他回答

1-③ 住居形態（○は、1つのみ）

- ☐有料老人ホーム
- ☐施設
- ☐両親の持ち家
- ☐市営住宅
- ☐市営住宅
- ☐市営住宅

1-⑥ 職業（○は、1つのみ）

- ☐作業所
- ☐会計年度職員
- ☐配管工
- ☐農業
- ☐農業
- ☐農業
- ☐高齢者
- ☐農業
- ☐農業
- ☐農業
- ☐農業
- ☐農業
- ☐看護師
- ☐会計年度職員
- ☐団体職員
- ☐農業
- ☐作業所
- ☐農業
- ☐作業所（就労支援）
- ☐農業
- ☐高齢者
- ☐会計年度任用職員
- ☐シルバー人材

2-② 2-①で「1. 関心がある」または「2. どちらかといえば関心がある」を選んだ方にお聞きします。どのようなことに関心がありますか。（○は、いくつでも可）

- ☐かつての売り方・買い方。
- ☐マイクロプラスチックの海の魚などへの影響。
- ☐ごみステーションの利用時間が守られていないこと。
- ☐自治体の衛生委員の負担が大きいこと。
- ☐ごみ収集事業者の負担はどの程度なのか。大変なのか。
- ☐河川に流れ、流れ着くゴミたち。
- ☐町内会費が6～7万円と高く入会していないため、ステーションが使えない。
- ☐スーパーストアや飲食店の食品ロスへの取組。
- ☐川に流れてくるごみ。水害になることもある。

- 粗大ごみ処分は、女性だけの場合処分が困る。
- その場の勢いで買い過ぎないようにする。
- ポイ捨て（内山地区のペットボトルの中の尿が困る）。
- 山間部における生ごみと動物（熊、猪、猿）等の問題。
- まだ着られるがあげる人もいない服をごみに出すのは気が引けるので、「古着ワクチン」のような取組をしてほしい。
- リサイクルが本当に省エネにつながっているか問題がある。
- 事業系ごみの減量化対策。
- 電化製品のリサイクル、特に充電電池に利用されるレアメタルなどのリサイクル状況がよくわからない。

2-③ 2-①で「3. どちらかといえば関心がない」または「4. 関心がない」を選んだ方にお聞きします。関心がない理由は何ですか。（○は、いくつでも可）

- 持っていつてくれない時があり、何がダメなのかわからない時がある。
- 家族が分別しているから。
- 興味がない。
- 佐久市全体的にポイ捨てが多いから。
- 全量リサイクルであれば重要度は高いと感じるが、リサイクル率は現状小さいためリサイクルの実効性は薄いと感じている。
- 特定資材を除いてほぼ意味をなさないから。
- 分別などは日常的なもので特別関心を持っていないという意味。

3-② 雑がみの分別に関して、困っていることはありますか。（○は、いくつでも可）

- 封筒やはがきなどプライバシーがいっぱい。資源で出したくない。
- 発生しない。
- 雑がみ回収袋の販売希望。
- 雑がみをまとめるのが面倒くさい。
- ごみとして出せない物は家で燃やしたい。
- 市ゴミ web ページを参照しているが、紙質判断の難しいものがある。
- 判別に迷うことが多い。
- 雑紙の定義が分からない。
- トイレットペーパーの芯等小さなものを広告と一緒に出している。
- 付箋のノリの部分は燃えるごみにする等細かくでも構わない。
- 雑がみを入れる袋が不足する。
- 封筒についているフィルムがとりづらく、しっかりとれない。
- 雑がみと折込広告の分別が不明。
- 新聞類と雑がみを一緒にできないか。
- 紙袋がない時、手作りしなくてはならない。
- 薪ストーブの焚き付けにしているので発生しない。
- 雑がみを入れるクラフト袋を購入している。
- 小さい雑がみを入れる紙袋がない。
- 収納するための紙袋に困る。
- 個人情報記載のものをどうしたらよいのか。
- 大きい紙袋がない。
- ティッシュ BOX などはビニール部分をはがすが必要になる。
- 可燃ごみ処理が現状。
- ダンボールと雑紙の分別がめんどくさい。
- どこまでの汚れがリサイクル OK なのか判断に迷う時がある。

3-③ 容器包装プラスチックの分別に関して、困っていることはありますか。(○は、いくつでも可)

- 汚れがひどい場合は可燃ごみとして出す。
- 容器包装プラスチックに該当するのか一つ一つ確認するのが面倒。
- 汚れがひどい時は可燃ごみとして出している。
- ごみステーションに汚れたままのプラゴミが気になる(臭い等)。
- 洗剤で洗う場合もあり、環境にはどうか。
- ラベル等がはがれない。
- ラップの汚れや濁きに時間が掛かる。
- 乾燥。
- 圧縮して出すことができない、現在はごみ袋に入れないと回収されないの。
- ラップ類の処理。
- 容器包装プラスチックだと思っていたら可燃ゴミで、置いて行かれてしまった。何が基準かわからないのでいちいち調べなければならず手間。
- 分別があっているか不安。
- 汚れが強いものや香りの強いものは洗わず燃えるゴミに捨ててしまっている。
- 分別に迷う品目がある。
- プラゴミ箱に透明ビニール袋を入れてそこにプラごみを入れ、最終的に指定のゴミ袋に入れて捨てるが、ゴミ箱に設置した袋ごと指定ゴミ袋に入れると、「二重袋のため回収できません」と張り紙をされる。いちいち中身を袋から出して指定袋に入れ直しているが、その袋も結局指定袋に入れて捨てる上に嵩張るため、指定袋の消費も増える。中身が見える透明袋でプラゴミの場合は二重袋扱いにしないで頂きたいです。
- こちらは汚れが落ちていると判断しても、回収業者が回収しない。

3-④ 雑びんの収集に関して、困っていることはありますか。(○は、いくつでも可)

- 【分別が難しい(色や材質の判別)】
- 透明のビンの分別が難しい。
- 分別が面倒(透明、色付き等)。
- 化粧品のビンで困ることがある。
- 色の区別が分からないものがある。
- 色のついたビンの分別が難しい。持っていってもらえない。
- 分別が分かりにくい。
- 分別がよくわからないビンがある。
- どのように分別してよいか全くわからない。たまったら民間の廃棄物処理業者へ捨てに行く。
- ビンの色が分かりづらい時がある。
- 色の分別。
- 酢ビンの分別。
- 色の分別。
- ビン類の分別が複雑すぎて困る。
- ブルーや変わった色のビンの扱いも不便。
- 材質が分かりにくい。
- 色分けがよくわからない時がある。
- 分別に当てはまらない。
- ビンの色が分かりづらい時がある(特に茶ビン)。
- ビンの色がはっきりしないとき困る。
- 分別がよくわからない。
- 分別が難しい
- 色別の黒・濃緑など色別が大変。雑ビンというくくりにならないか。
- 色で迷うことがある。
- 種類が難しい。
- 微妙な色の違いで回収してもらえないことがある。
- 色別が分かりにくく難しい。

- 油のびんをどうしたらいいかわからない。
- 色弱なので、緑と茶の区別ができません。色つきと透明で分別していただきたい。
- 色の区分け（茶、透明）で判断に困る場合がある。
- 【分別区分が多すぎる】
- 雑びんを分ける種類が多すぎる。
- 色別で出すので袋が何枚も必要。
- 面倒くさい。
- 数種類に分けるのが大変。
- 色別しないといけないため、袋が3つ必要でなかなか溜まらないうと出せない。袋が高いので困る。色別しないで出せるようにしてほしい。
- 色物が少ない場合があるので、一緒にまとめて出すことができればありがたい。
- ビンの分け方が細かい。
- ビニール袋がもったいない。
- ビンの回収は色別の条件が多い。
- 緑のビンや茶ビンはたまらないので分けずに一緒にの袋にしてほしい。
- なぜ3種類に分別するのか不明。
- ビンの種類で分けるので、袋が溜まらないことがある。
- ビンは少ないのに色別に分けるため、袋を何枚も使う。
- 色別に手間がかかる。
- 色別にする理由が知りたい。その分ビニール袋の消費が増えるため。
- 色分けする意味が分かりません。
- 色ビンは全部同じにしてほしい。
- 透明、茶、その他に分けるが、茶、その他は一緒でもよくないか？
- びんを色分けするために、たくさんゴミ袋を購入・使用しなければならない。
- 色毎に袋が必要なのはあまりたまらないのもったいない。
- 【ごみ袋に小さい袋がない】
- 収集袋が少し大きい。色分別しなければこの大きさでも良いのですが。
- 小袋より更に小さい袋が欲しい。
- 色分けするのでもう少し小さい袋にして欲しい。
- 袋にたまって捨てる時には重すぎて捨てる時に困るので、数本単位で捨てたい。
- もう少し小さい袋があるとありがたい。
- 【無料の回収拠点がない】
- イオンとかに回収ボックスが欲しい。
- 無料回収してくれる場所がない。
- 【一升瓶が出しにくい】
- 酒ビンを店まで持っていくのが不便。ごみの日に出したい。
- 一升瓶を酒屋さんに持っていったら酒と分かるラベルがないので引き取れないと言われたので、市に出しても良いのでしょうか？
- 一升瓶の回収がないので困る。
- 一升瓶に困っている。
- 酒ビンを収集してほしい。
- 酒ビンも収集してほしい（一升瓶を酒屋にもっていきにくい）。
- 一升瓶を収集してください（特に緑色）。
- 酒屋さんで引き取らない1.8Lのビンの処理。
- 【保管する場所がない】
- 保管に困る。
- 色を分けて分別するため、時間をかけて溜めなければならない。
- 色で分けるのは場所をとる。
- 収集袋がいっぱいになるまで保管する場所がない。
- 保管場所、区付け数。
- 保管場所がない。
- 無色、色付き、茶瓶の3種類で保管する場所が困る。色付きと茶瓶がまとまったら助かるけど、

処理業者の手間になるなら今まで通りで問題ない。

【回収方法を変更してほしい】

- 袋に入れて回収しないで良い方法はないですか？回収日に3種類の箱を置くとか。
- ビニール袋での月1回の回収ではなく、常設ボックス等を設置してください（スチールとアルミも）。
- ステーションに分類ケース等を置けば出しやすいと思う。
- 茶色ビンはなかなかゴミ袋にいっぱいにならないので、ゴミステーションに色別で地域の方と共同でできる工夫ができれば助かる。ずっと自宅で保管しているビンがあります。
- 色別に袋分けは大変、袋がもったいない。小諸市のようにBOXで1本でも回収できるようにしてほしい。
- 雑ビンはコンテナ回収してほしい。
- 常設の拠点回収は利便性が高い。
- 少しの量しか出ないので、どこかに回収出来るように箱など置いておいてほしい。
- 袋回収ではなく他自治体のようにカゴに種類分けして出せれば良いと思う。
- ゴミステーションに区ごとに色分けされた瓶回収袋を置き、ある程度溜まったら回収する様にしては如何でしょうか？色付き瓶数個のために一袋ゴミ袋を使う＝捨てるのは勿体無いので。

【びんがたまらない】

- 全然たまらない色のビンがあり困っている。
- 特に緑色のビンがたまらない。
- 種類によってはビンがたまらない。
- ある程度ためる必要がある。

【その他】

- 缶も集めてくれる人がいる。
- アリオ上田まで持っていくが、遠いのでたまにしかいかない。
- つい出すのを忘れる。
- 必ず来てくれれば問題ないです。
- 再生ビンの処理。

3-⑤ ごみステーションに関して、困っていることはありますか。（○は、いくつでも可）

【ごみステーションが使いにくい】

- ゴミが多くて、扉が開けにくいことがある。
- 収集箱をつけてほしい。
- 入りきらない。
- 燃えるゴミが多くなったのであふれてしまう。
- 雨よけがない。
- 主に可燃ゴミを出す時に困っているのですが、ゴミを手前に置かれるので、それを乗り越えて奥に置かなければならないのが大変。奥から置くように言ってもらいたい。
- スペースが足りずに入りきらないことがある。
- ゴミ箱を設置してほしい。
- ステーションの扉が開かなくなってる。
- 駐車場出口にある為、車の出庫時に邪魔になっている。
- 屋根付きのドアがあるゴミステーションがあるとよい。

【ごみステーションが汚い】

- 飲食店の中にあるステーションは日々汚い。散らかっている。
- ごみステーションの場所が狭く、ゴミがあふれている。
- 入り口付近にゴミが山積みになっている。
- 収集業者が車に入れる時や車の中から落ちたゴミを拾わず放置していつてしまうので、車道に可燃ゴミが落ち、そのままになっていることがよくある。

【ごみ収集の時間や頻度の問題】

- ゴミにより収集時間がまちまち。
- 収集時間が異なる業者がある（時間が色々）。

○独身のため、ごみ当番になったときに収集時間が遅すぎて出かけるのに困る。

○地域によって回収時間が異なることは仕方ないが、早い時間の回収が大変。

○収集時間が早くて間に合わない時がある。

○前日の夜に捨てられるようになると助かる。

○収集頻度が少ない。

【分別やごみステーション利用に関するルールが守られていない】

○無分別や他人の名前を記入するなど、悪質な不法投棄が定期的なあり。自治体の当番だけでは処理しきれなくなっている。衛生委員の負担も大きい。

○分別ルールを知らない（適当にやっている）人がある。

○名前の記入がない人がある（置いておかれるので困る）。

○分別ルールを守らず、無記名の袋は自分たちで中を確かめて分別しなくてははいけない。

○きちんと袋に詰めていないケースがある。

○名前のない人は困ります。

○無記名で捨てる人がある（特定済みだがアパートの人なので注意できない）。

○イエローカードをつけても持ち帰らない人があると不快になります。

○水切りされず漏れ出して、夏は悪臭が発生。近所の人には注意できないで困る。

○回収されないものに限って名前が書かれてなくて処分に困った。

○ゴミステーションの保護網をきちんとかぶせてないことがあり、横の用水路に数個容プラゴミ袋ごと落ちる。

○ルールを守らない人の不法投棄。

【収集業者にごみを回収してもらえない】

○分別が間違っていたため回収されずに残されていたことを、しばらく気づかず置きっぱなしにしてしまった。

○名前がないと持っていってもらえない。

○収集業者が理由をつけてごみを置いていくことはいかなものか。

○今までと同じ方法で捨てても急にゴミが回収されずゴミが溜まる。

【ごみステーションへのアクセスが悪い】

○今年から遠い場所に変更になりました。

○生ごみは別の場所で遠いし、朝は車が多くて危ない。

○車でステーションに来る方がたくさんおり、道路でのすれ違いが危険。

○駐車場が狭い。

○車のすれ違い（狭い）。

○歩くと遠いので車で行くが、細い道なので気を遣う。

【ごみステーションの管理が大変】

○決まった人しかネットの片付けをしないので、ゴミを出す人が当番でできれば良いと思います。

○当番の時に困る（自分で分別するのはとても嫌です）。

○ネットを出す当番が面倒くさい。

○残された袋を出した人に戻す困難さ。

○ゴミステーションの管理がとても負担になります。置いていかれたゴミを持主の自宅まで届けたり、持主不明は中を開け分別し直して他人のゴミをこちらで出し直ししないとならない。とても困ってます。

○名前がなく残されたりしたときの連絡。

【ごみステーションを管理されている方への感謝】

○善意で掃除や片付けをしている方に感謝です。

○ステーションにカラスが来て困っていたのを、グループの人が手作りで自分の敷地にゴミ捨ての箱を作ってくれた。ありがたいし、きれいになりました。

○近くの方がボランティア的に掃除してくださり、ありがたいと思っています。

【その他】

○ごみステーションは利用していない。

○氏名の記入についてはプライバシー保護のためやめてほしい。（逆にゴミが増えている）

○所有者？が変わり次の日から急に使えずとても困っている。

○区費を支払わなければゴミを出しては行けないルールが謎。だとしたら市内に 1 箇所が良いから

誰でも出して良い場所を作って欲しい。

- 新聞や黒いビニール袋で中身を隠す人が多く気になる。
- 不用品引き取りをしている人が、要らない物をまとめて何袋も出している。
- 特に容器包装プラスチックなどはカラスに荒らされることが多い。出す人も工夫すれば防ぐことができると思うが、実施されていない。

4-② ④-1で「1. よくあった」または「2. 時々あった」を選んだ方にお聞きします。捨てた食品は何でしたか。(○は、いくつでも可)

- 調味料
- 消費期限の日付が近いので、若い者は冷蔵庫に入れていても、まだ食べられるものを捨ててしまう。
- 冷凍食品で賞味期限が切れてしまったもの
- 購入した菓子
- 野菜の外葉
- 冷凍した野菜
- 使いきれず期限切れの調味料
- いただきもの
- めんつゆ
- 貰った消費期限切れる弁当

4-③ ④-1で「1. よくあった」または「2. 時々あった」を選んだ方にお聞きします。家庭で食品ロスが発生するのはどのようなことが原因ですか。(○は、いくつでも可)

- 自家用野菜が腐った。
- 急に家を空けないといけない時、泊まり等。
- 夫による食品の買い過ぎ。
- 在庫していたことを忘れる。
- 冷蔵庫の整理ができていない。
- 多く作らないようにしているが、二人きりなので食べきれない時がある。
- 野菜などもらい過ぎるもの。
- 食べ忘れ。
- 仕事が忙しく調理する時間がままならなかった。
- もらったビン詰め、缶詰。
- ある事を忘れていた、気づかなかった。

4-④ 食品ロスを減らすために日頃から行っていることはありますか。(○は、いくつでも可)

- 必要なものは黒板に書くようにしている。
- 期限の近い物を買過ぎない。
- 冷凍商品は、使用分だけ解凍して使用するようになっている。
- 作りすぎた料理は冷凍保存する。
- 頂き物の野菜等は使いきれずにダメになってしまうので、良い保存方法を知りたい。
- 消費期限の近い物から料理する。
- 外袋、外箱、ビンの蓋に期限をマジックで書く。
- 期限切れでもなめてみて変でなければ食べれます。
- 1週間のメニューを決め、必要な食品だけを買って使い切る。
- 肉じゃがが残ったら、それをカレーにするなどしている。
- レトルト食品などのもらい物をフードバンクに寄付したいが、場所が分からない。
- 残さないように作る。
- たくさん作ったら息子宅へ届ける。
- 保管している食品の消費・賞味期限を把握しておく。

- 小分けして冷凍して使用する。
- 材料を使い切る。
- 知人とシェアする、おすそわけする。

5-② 5-①で「1. 継続すべき」または「2. どちらかといえば継続すべき」を選んだ方にお聞きします。継続すべきと考える理由は何ですか。(○は、いくつでも可)

- 可燃ごみと生ごみを分けて出せることは助かる。
- 継続すべきですが、可燃ごみの削減には正直ならないと思っています。介護や育児でおむつごみが出る家庭も多いので、臼田地区だけ可燃ごみの収集日が週1回なのは不公平。年末年始10日以上のごみは置いておくのが難しい。

5-③ 5-①で「3. どちらかといえば継続すべきではない」または「4. 継続すべきではない」を選んだ方にお聞きします。継続すべきでないと考える理由は何ですか。(○は、いくつでも可)

- 堆肥も塩分を多く含んでいてよくないと聞く。生ごみだけではなく、子育て中はおむつのごみが大量に出るので、可燃ごみの日が週1回しかないのは困る。
- ごみステーションが他のごみステーションとは別で遠いし危ないので、継続するなら同じところにしてほしい。
- オムツを週2で捨てたいです。
- カラス等の被害。夏場ゴミ出し日までの臭いが気になる。袋代にお金がかかる。

6-⑪ 今後、ごみの分別やごみの減量化・資源化などを進めるにあたり、あなたが市に重点的に取り組んでほしいと思うことは何ですか。(○は、いくつでも可)

- 【ごみ出しや分別のルールの周知徹底・指導】
- 他の市町村からの移住者でアパート等の集合住宅に居住する方たちへのごみの分別等のルールの周知徹底。
- ごみを出す日が指定されていることを守らない市民がいる。
- アパート等に出し方などを必ず指導してもらう。
- 【分別区分（品目の拡大、受入の緩和）や収集頻度の変更】
- わかりやすくしてほしい。
- 臼田地区は生ごみをやめる。
- 庭木剪定木の直接搬入など開放してほしい（袋に入るサイズにするのは苦です。田畑で燃やす人も多い印象で環境的にどうかと思うから）。
- 市で設置している小型家電の入れ物は基準が厳しいので大きくしてほしい。
- 埋立ごみに出せるものと出せないものがあるって不便である。埋立ごみに出せないものが多いので不法投棄をする人が増加したように思える。
- 拠点回収の開始、収集頻度の増加。
- 分かりやすく、取り組みやすいゴミの分別を考えてほしい。分別しすぎで厳しいと生活しにくいし守りにくい。ゴミの減量化を真剣に考えたり実行したりできず、むしろゴミを出しやすくしてほしいと願っています。埋め立てゴミが燃えるゴミになって大分楽になりました。
- ゴミの分別、回収ももっと柔らかくしてほしい。分別項目が多すぎる。
- 【3Rや分別方法に関する情報提供や環境教育の充実】
- ごみの区分が分からない時は、電話で物品名を言ってお聞きしてます。スマートフォン等の使い方を教えてください。
- 情報提供を多くする。
- 正しいリサイクルを学ぶ（子供たちへの教育）。実際にリサイクルで多量の石油を使うことがある。
- 臼田地区の生ごみたい肥化についての取組や、住人の意識、またその効果について知りたい。
- 生ごみの水分簡単除去方法（夏放置すると虫が湧く）。
- 【発生抑制（リデュース）に関する取組の推進】

- 食品ロス（学校給食など）への取り組み。
- 生ごみの水切りで現在の三角コーナーより更に進歩した容器の開発。
- ごみになるものを、そもそも世に出さない。ごみとなる物質を生み出さない社会作り、また、全て土に戻る物のみを使う社会になってほしい。
- ペットボトル（石油製品）を買わない運動。
- 生ごみ処理機が有効ならば購入費全額補助にして進めてはどうか。
- 【再生使用（リユース）に関する取組の推進】
- そもそもごみを出さない取組（例：小学生のピアノカやリコーダー、中学生のヘルメットや自転車、子供の運動着、中学の制服やカバンをリサイクルできるシステム。地域で下の子に渡せる仕組み。
- 使用できる物のリサイクル。
- 布ごみで出すにはもったいない良品の衣類を回収する BOX を設置して欲しい（バザーなどで困っている人に届けば嬉しい）。
- バザーを開く。
- 以前、市の広報にあった不要品を必要な人にマッチングするコーナーを再開してほしい。
- 【再生利用（リサイクル）に関する取組の推進】
- 資源化品物の無料回収を重点的に取り組んでほしい。
- ごみを資源に変えることを考えるときが来ているように思います。市でも専門的に取り組み、住むところの環境を守ってほしい。
- 【ごみ出しに関する取組の推進】
- ご高齢の自治体の衛生委員の方が一生懸命やってくれているので、何とかごみステーションが稼働しているが、更に少子高齢化が進み、自治体もなくなったら今のごみステーションによるゴミ回収というモデルが成り立たないのではないかと危惧してます。
- 佐久市は色々細かい点が多いと思います。
- ごみステーションがすぐ近くにある地域に以前は住んでいたが、ごみステーションまで今は遠く大変さを感じている（地区に1ヶ所）ごみステーションを近くに作ってほしい。
- 氏名記入をやめてほしい。佐久市には永住したくないという声も聞こえる。
- 関係ありませんが、記名をするのをやめてほしい。
- 大人や子供の紙おむつ、生理用品などは包み漏れしないようにビニール袋に入りたいです。
- 可燃ごみ制限の緩和をお願いしたいです。
- ルールを守らないで残されたごみを自治会に押し付けるのはやめてほしい。
- ごみ袋がお金を出して買っている割には破れやすく、小さいし使いにくいので、改善してほしい。
- 埋立ごみの袋が小さい物しか売ってなくて大変困っています。
- 回収サイクルを増やしてほしい。
- ビン・缶・ペットボトルなども袋がいっぱいになるまで家での保管は大変なので、それぞれ拠点回収があるとありがたいです。
- 収集場所が遠くなる場合は、高齢者には大変だと思う。
- 庭木に困っています。回収しているところはないでしょうか。
- 負担なく取り組めるための配慮。
- 拠点回収は是非やってほしい。
- 指定袋の廃止または値引き。
- ゴミ袋の値段を上げないでほしい。
- 【美化活動の推進】
- ごみステーションが道路のそばにあるため、不法投棄が多かった。
- 公園の清掃を行っています、ポイ捨てや不法投棄が多いです。千曲川の不法投棄の清掃と監視をしてほしい。
- 街中の道路沿いに資源ごみがたくさん落ちています。市内一斉清掃の日を 5/30 ごみゼロの日の他にもう1日増やすべきです。
- 山のごみ拾い。
- 【その他】
- 特になし。

- ☐なし。
- ☐集計と分析、市がやらないでどうする。
- ☐野焼きの禁止。
- ☐特になし。
- ☐産業廃棄物業者の経営基盤強化と処理能力向上のための施策を促進すること。

(2) 事業所アンケートのその他回答

1-② 業種 (○は、1 つのみ)

- ☐自動車

1-③ 事業所形態 (○は、1 つのみ)

- ☐診療所
- ☐診療所
- ☐宅老所
- ☐各科外来、各病棟
- ☐病院
- ☐入所施設
- ☐クリニック
- ☐介護施設

1-④ 建物形態 (○は、1 つのみ)

- ☐共同事務所
- ☐テナントビル

2-⑤ 貴事業所では、ごみの排出量をどのように把握していますか。(○は、いくつでも可)

- ☐委託業者からの請求書の内訳で把握している。
- ☐電子マニフェストを使用。

2-⑥ 貴事業所で排出量が多いごみは何ですか。重量を把握していない場合は、推測で構いません。ただし、産業廃棄物処理業者に引き渡しているものは除きます。(○は、いくつでも可)

- ☐ティッシュ、汚物
- ☐タイヤ
- ☐紙おむつ
- ☐おむつ
- ☐紙屑
- ☐全て処理業者へ出している
- ☐ビニール

2-⑦ 貴事業所でのごみと資源物の処理方法についてお答えください。処理方法が2種類以上ある場合、主な処理方法をお答えください。ただし、産業廃棄物処理業者に引き渡しているものは除きます。(○は、1 つのみ)

- 【生ごみ】**
- ☐業者回収
- ☐佐久市堆肥製産センターへ
- 【剪定枝、木、草】**
- ☐業者回収

- 回収業者へ引渡し、処分
- 【新聞紙、折込広告】
- 業者回収
- 【ダンボール】
- 業者へ搬入
- 業者回収
- 建物貸主と同一処理
- 【書籍、雑誌】
- 業者へ搬入
- 業者回収
- 建物貸主と同一処理
- 【雑がみ】
- 運搬業者が佐久平クリーンセンターへ搬入
- 業者回収
- 建物貸主と同一処理
- 【OA 用紙、コピー用紙】
- 業者回収
- 建物貸主と同一処理
- 【飲料用の缶類】
- 業者回収
- 各自持ち帰り
- 回収業者へ引渡し、処分
- 【ペットボトル】
- 業者回収
- 各自持ち帰り
- 回収業者へ引渡し、処分
- 【びん】
- 廃棄物処理業者へ引渡し（有償）
- 業者回収
- 各自持ち帰り
- 分別して業者へ処理を委託
- 回収業者へ引渡し、処分
- 【容器包装プラスチック】
- 廃棄物処理業者へ引渡し（有償）
- 業者回収
- 建物貸主と同一処理
- 混合廃棄物として処分委託
- 分別して業者へ処理を委託
- 回収業者へ引渡し、処分
- 【容器包装以外のプラスチック】
- 廃棄物処理業者へ引渡し（有償）
- 業者回収
- 建物貸主と同一処理
- 混合廃棄物として処分委託
- 回収業者へ引渡し、処分
- 【金属類（飲料用の缶類を除く）】
- 廃棄物処理業者へ引渡し（有償）
- 業者回収
- 建物貸主と同一処理
- 混合廃棄物として処分委託
- 分別して業者へ処理を委託
- 医療廃棄物として業者に依頼

☐回収業者へ引渡し、処分

【ガラス・陶磁器類】

☐廃棄物処理業者へ引渡し（有償）

☐業者回収

☐建物貸主と同一処理

☐混合廃棄物として処分委託

☐分別して業者へ処理を委託

☐医療廃棄物として業者に依頼

☐回収業者へ引渡し、処分

2-⑧ 次の品目のうち、「可燃ごみ」として処理している品目をお答えください。（○は、いくつでも可）

☐おむつ

☐紙屑

☐0A 用紙、雑誌みは汚れたものや小さく刻まれたもの、再生紙に向かないものを可燃としている。

3-③ 3-① で「1. 積極的に取り組んでいる」または「2. ある程度取り組んでいる」を選んだ方にお聞きします。貴事業所では、ごみの減量化・資源化に関して、どのような取組を行っていますか。

（○は、いくつでも可）

☐ニワトリのエサにしている。

3-④ 貴事業所で、現在はごみの減量化・資源化のために取組を実施していないが、今後ごみの減量化・資源化のために実施したいと考えている取組はありますか。（○は、いくつでも可）

☐雑紙、0A 用紙等の再生紙向けへの取組。

3-⑥ 食品の販売または提供を行っている「宿泊業」または「飲食サービス業」の方におたずねします。生ごみの減量化・資源化のため、貴事業所で現在取り組んでいることはどのようなことですか。

（○は、いくつでも可）

☐肥料に再利用できるか試している。

4-② 4-①で「3. どちらかという利用したくない」または「4. 利用したくない」を選んだ方にお聞きします。利用したくない理由は何ですか。（○は、いくつでも可）

☐臼田地区の方から分別が大変と聞いているから。

4-③ ごみの減量化・資源化に関して、どのような情報が知りたいですか。（○は、いくつでも可）

☐分別方法

4-⑤ ごみの減量化・資源化を推進するため、今後佐久市に何を期待しますか。（○は、いくつでも可）

☐「2. 事業者を対象とした減量化・資源化に関する講習会の開催」を考えていない人が多いと思います。分別だけではない取組をミニマムに周知していくことが必要と思います。

☐期待しない

☐特になし